



国立大学法人

岐阜大学概要 | 2012

目次

Contents

岐阜大学の理念と目標	01
岐阜大学憲章	02
岐阜大学の教育における 3 つの方針	03
環境への取り組み	04
教育研究組織	05

教 育 学ぶ岐阜大学

特色ある教育改革の取り組み	12
学生数	14
入学状況	16
学部卒業者数・進路状況	17
国家試験合格状況・教員採用状況	18
大学院修了者数・進路状況	19
学生支援施設	21
学生サークル活動	22

研 究 究める岐阜大学

プロジェクト研究センター	23
21世紀 COE プログラム	24
科学研究費助成事業	24

社会連携 貢献する岐阜大学

地域連携	25
公開講座・シンポジウム	26
高大連携	26
市民大学講座	26
産官学連携	27
国際交流	29

組 織

運営組織	33
役員等一覧	34
役員・職員数	36
予 算	37
寄附金	37
沿 革	38
歴代学長	39

キャンパス

建物配置図	40
土地・建物	42
所在地・交通案内	44



岐阜大学の理念と目標

Ideals and Aims of Gifu University



岐阜大学長 森 秀樹

学び，究め，貢献する

【理念】

岐阜大学は、「学び，究め，貢献する」地域に根ざした国立大学として、東西文化が接触する地理的特性を背景としてこの地が培ってきた多様な文化と技術の創造と伝承を引き継ぎ、人と情報が集まり知を交流させる場、体系的な知と先進的な知を統合する場、学問的・人間的発展を可能とする場、その成果を社会に発信し、有為な人材を社会に送り出す場となることによって、学術・文化の向上と豊かで安全な社会の発展に貢献する。

【目標】

- 1) 岐阜大学は、人材養成を最優先事項として位置付け、質・量ともに充実した教育を行い、豊かな教養と確かな専門的知識・技能、広い視野と総合的な判断力、優れたコミュニケーション能力に加え、自立性と国際性を備えた高度な専門職業人を幅広い分野で養成し、社会に輩出する。
- 2) 岐阜大学は、優れた教育を実践するための研究基盤を維持するとともに、生命科学及び環境科学分野をはじめとする独創的、先進的研究の拠点形成を目指し、その成果を社会に還元する。
- 3) 岐阜大学は、多角的な教育力及び研究力により、地域の諸課題に取り組み、地域社会において存在感のある大学として、地域社会の活性化に貢献する。
- 4) 岐阜大学は、教育と研究の特性を生かした大学の国際化を推進し、学生や教職員の国際的通用性を高め、地域社会の活性化に貢献する。

【学 章】



- 1. 岐阜大学の学章は鵜舟と篝火を意味する。篝火は学問を船は人類の幸福を意味するであろう。
- 1. 陰陽二体の組み合わせは天地自然を意味する。総ての存在と活動調和とバランスを意味するであろう。
- 1. 黒とオレンジ色の組み合わせは情熱を意味する。また感性の豊かさと品位を意味するであろう。
- 1. 単純化された形は現代の清潔感と活動性を意味するであろう。それはまた時代の速度と知性を意味するであろう。

【シンボルマーク】



創立 60 周年を迎えた平成 21 年、デザインを広く公募し決定した。岐阜の地での豊かな教育研究活動が、日本全体、世界へと発信されていくこと、そして岐阜大学学生が自らの将来に矢のようにまっすぐ進むことを折念してデザインされている。また、学章が力強い弓と融合し、岐阜大学の頭文字「G」を形作っている。

学生憲章：「岐阜大学は学生に何を期待しているか」

学生の皆さん。岐阜大学で学ぶ数年間は、皆さんの人生において最も輝いている、それ故に最も大事な時間なのです。岐阜大学における学生生活は、将来の生き方を決める上で決定的に重要です。学問の基礎と高度な専門知識を学ぶと同時に、人間、自然、社会に対する豊かな感性と洞察力を磨いてください。大学の教職員は皆さんの期待に添うよう最善を尽くします。皆さんも努力してください。

1. 本をたくさん読み、学んでいく上での土壌を作ろう。
2. 文学と芸術を愛し、人間と自然への理解を深めよう。
3. 専門職業人として、高度な専門知識を身につけよう。
4. 自分の考えを論理的な文章にまとめ、発表できるようにしよう。
5. 国際語である英語をマスターし、十分に意思疎通できる実力をつけよう。
6. IT技術により、正しい情報の受信と発信ができるようにしよう。
7. 長い人生を生きるための体力をつけ、健康を守ろう。

教員憲章：「岐阜大学の教員は何をすべきか」

岐阜大学は、「教育に軸足を置いた教育・研究大学」を理念としている。学生憲章にしたがい学生を教育し、優れた人材を社会に送り出すことが大学に課せられた最大の使命である。質の高い教育には、学問に対する情熱と質の高い研究の裏付けを必要とする。教員は独創的研究を進め、世界トップレベルの研究を目指す。教員は、教育者、研究者としての高度な倫理観が求められていることを常に意識しなければならない。

1. 教育に軸足を置いた教育・研究大学として、学生憲章に示す教育を実践する。
2. 広い視野、深い専門知識、総合的な判断力と行動力をもった人材を育成する。
3. 研究に取り組む姿、日常生活、それらのすべてが学生に対する教育である。
4. 教育者、研究者としての倫理を常に自覚し、行動する。
5. 目標を高くもち、世界トップレベルの研究を目指す。
6. 長期的視点と広い視野で、独創的な研究を進める。
7. それぞれの専門分野を通して、社会貢献に努める。

社会貢献憲章：「岐阜大学はどのように社会の要請と期待に応えるか」

法人化以前の大学は、『象牙の塔』という言葉に象徴されるように、社会から切り離された一段と高い存在のように思われていた。しかし、法人化後、大学はあらゆる面で社会から期待される存在になった。これを受けて、大学は積極的に社会に貢献しようと努めている。岐阜大学は、中部地域に立脚した国立の地方総合大学として、教育、研究、産業、医療、文化など、広く地域社会の要請と期待に応えられるよう努めなければならない。国際的にも、教育、研究面で貢献することが求められている。

1. 優れた人材の育成が、大学に期待されている最大の社会貢献である。
2. 地方総合大学の重要な役割は、地域社会との連携、協働である。
3. 産官学間の連携により、地域産業の振興に貢献する。
4. 地域住民、行政機関との協力により、地域の行政、経済、教育、文化の発展に貢献する。
5. 附属病院は高度先進医療センターとして地域の医療に貢献する。
6. 先進国、途上国と協力して国際的な社会問題の解決に貢献する。
7. 海外の大学との連携および留学生教育を通して、国際社会に貢献する。

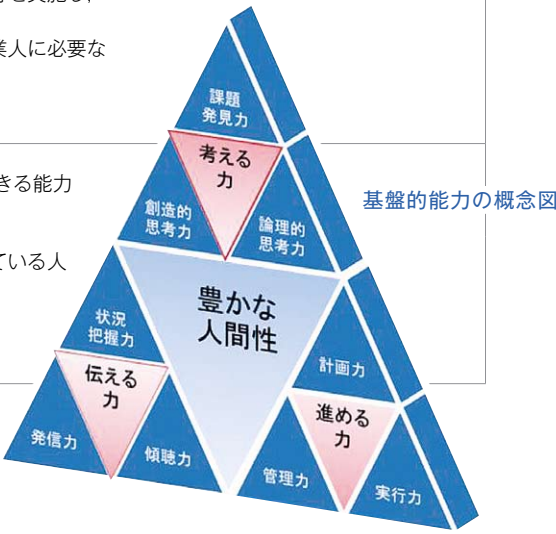
大学運営憲章：「期待に応える大学であるために何をすべきか」

教育、研究、社会貢献など大学に対する社会からの期待は大きい。中期目標、中期計画を策定し、それを確実に実行することが、社会の期待に応えるための基本となる。大学という、普通の社会一般の組織とは少なからず異なる独自の組織形態と価値観をもつ組織を、本来の目的に向かって進めるためには、学長のリーダーシップのもとに、役員と教職員が問題意識を共有し、大学運営に当たることが重要である。特に、戦略性を重視し、個性ある大学像を築くことが必須条件である。国立大学法人をめぐる厳しい財政状況下で、大学の活性を保ち、本来の任務である教育、研究、社会貢献を進めるためには、経営と管理運営に戦略性が必要である。

1. 中期目標、中期計画を確実に実行する。
2. 戦略性を重視し、明確な方針と学長のリーダーシップのもとに大学運営にあたる。
3. 環境問題を重視した運営を行い、教育、研究、社会貢献に反映させる。
4. 厳しい財政状況を乗り越えるため、明確な経営戦略のもとに運営する。
5. 外部資金の獲得に努め、財政基盤を強化する。
6. 情報の透明性と公開性を重視し、効率のかつ合理的な運営を行う。
7. 教職員に優れた人材を採用し、その育成に努める。

岐阜大学の教育における3つの方針（学部）

学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	岐阜大学は、東西文化が接する日本の中央に位置し、この地が培ってきた多様な文化と技術の創造と伝承を基盤とし、地域に根ざし世界へ発信する「学び、究め、貢献する」国立大学として、学術・文化の向上と豊かで健全な社会の発展に貢献する人材を社会に送り出すことを理念・目標に掲げ、以下の基盤的能力及び専門的能力を総合的に備えている人に学士の学位を授与します。 ●豊かな人間性を支える基盤的能力 － 考える力（総合的判断力） － 伝える力（コミュニケーション力） － 進める力（自立的行動力） ●専門職業人として必要な専門的能力 － 社会に貢献できる高度な専門的知識・技能 － 深い見識と専門分野に立脚した見方・考え方 － 広い教養と高い倫理観に基づく社会的責任感
教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)	岐阜大学は、基盤的能力及び専門的能力を備えた専門職業人を育成するため、以下の方針に基づき教育課程を編成し、実施します。 ●豊かな人間性を支える基盤的能力を培う ●学習成果を適切に評価し、自主的な学習に責任をもって取り組む態度を培う ●社会的責任を果たすことができる倫理観を培う ●人文科学、社会科学、自然科学、健康科学にわたる教養教育を実施し、生涯学習の基礎を培う ●到達目標を明確にした体系的な教育課程を編成し、専門職業人に必要な知識・技能を培う ●専門分野を生かした見方・考え方を培う
入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)	岐阜大学が掲げる教育理念や教育目標を達成することができる能力として、以下の素養をもつ人を受け入れます。 ●大学での学修に必要な基礎学力としての知識・技能を有している人 ●知的好奇心にあふれ、自主的な勉学姿勢を有している人 ●多面的で論理的な考え方ができる人 ●自らの経験をもとに積極的に課題を探求する意欲がある人



岐阜大学の教育における3つの方針（大学院）

学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	岐阜大学大学院は、東西文化が接する日本の中央に位置し、この地が培ってきた多様な文化と技術の創造と伝承を基盤とし、地域に根ざし世界へ発信する「学び、究め、貢献する」国立大学として、学術・文化の向上と豊かで健全な社会の発展に貢献する人材を高度な専門職業人として社会に送り出すことを理念・目標に掲げ、以下の基盤的能力及びさらに高度な専門的能力を総合的に備えている人に学位を授与します。 ●高度な専門職業人としての基盤的能力 － 考える力（総合的判断力） － 伝える力（コミュニケーション力） － 進める力（自立的行動力） ●高度な専門的能力 － 社会に貢献できるより高度な専門的知識・技能 － より深い見識と専門分野に立脚した見方・考え方 － より広い教養と高い倫理観に基づく社会的責任感
教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)	岐阜大学大学院は、基盤的能力及び専門的能力を備えた高度な専門職業人を養成するため、以下の方針に基づき研究科の教育課程を編成し、実施します。 ●社会に貢献できる高度な専門的知識・技能を培う ●深い見識と専門分野に立脚した見方・考え方を培う ●広い教養と高い倫理観に基づく社会的責任感を培う
入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)	岐阜大学大学院が掲げる教育理念や教育目標を達成するために必要な以下の素養を備えている人を受け入れます。 ●大学院での学修及び研究に必要な基礎的専門知識・技能を備えている人 ●総合的かつ論理的なものごとを考えることができる人 ●知的好奇心にあふれ、自主的な研究を行う意欲を有している人 ●広い教養と高い倫理観をもち、研究における社会的責任を認識している人

本学は、岐阜大学環境方針に基づき、
環境に配慮した特色ある諸活動を継続的に展開し、
地域社会に貢献し、地域とともにありつづける大学として
平成 21 年 11 月 27 日に「環境ユニバーシティ」を宣言しました。

【岐阜大学環境方針】

本学の理念は、岐阜の地が培ってきた多様な文化と技術の創造と伝承を引き継ぎ、人と情報が集まり知を交流させる場、体系的な知と先進的な知を統合する場、学問的・人間的発展を可能とする場、その成果を社会に発信し、有為な人材を社会に送り出す場となることによって、学術・文化の向上と豊かで安全な社会の発展に貢献することです。この理念を達成するとともに、飛山濃水と称される豊かな自然に恵まれた岐阜の地に相応しい環境に配慮した大学環境を創り出すとともに、環境を担う優れた人材育成に努めます。

【基本方針】

- 1. 岐阜大学の特長を生かした環境教育・研究を推進します。
- 2. 岐阜大学の持つ教育力や研究力を生かし、地域社会に貢献します。
- 3. 教育・研究活動の環境側面を常に認識し、環境影響を評価し、環境汚染の予防に努めます。
- 4. 省エネルギー・省資源を推進し環境負荷の一層の軽減に努めます。
- 5. 教育・研究に関わる環境関連法規制及び岐阜大学が同意するその他の要求事項を徹底順守します。
- 6. 環境マネジメントシステムの見直しの枠組みを設定し、継続的な改善を図ります。
- 7. 毎年度活動目標を設定し、達成していきます。

岐阜大学は、この環境方針を学内外に周知し、広く公開します。

岐阜大学は、ISO14001 の全学認証取得を目指しています。

本学は、平成 15 年に地域科学部、平成 21 年に大学本部と図書館、平成 23 年に教育学部・附属学校が環境マネジメントシステム(ISO14001)の認証を取得しました。今後も順次、認証範囲を拡大し、全学的に環境問題に取り組んでまいります。
ISO14001 認証の信頼性を高めるための「認証組織情報自主公開プログラム」へ全国の大学で初めて参加しました。

岐阜大学環境月間（毎年 11 月）

「環境ユニバーシティ」宣言日(平成 21 年 11 月 27 日)に因んで、毎年 11 月を岐阜大学環境月間と定め、さまざまな関連行事を行っています。



学生による ISO 内部監査



学生による壁面緑化



応用生物科学部屋上緑化



クリーンキャンパス



学部

教育学部 2課程 12講座	学校教育教員養成課程	講 座	国語教育, 社会科教育, 数学教育, 理科教育, 音楽教育, 美術教育, 保健体育, 技術教育, 家政教育, 英語教育, 学校教育, 特別支援教育
	特別支援学校教員養成課程		
		附属施設	附属特別支援教育センター 附属小学校 附属中学校

地域科学部 2学科 4講座	地域政策学科	講 座	地域政策, 地域環境
	地域文化学科		地域文化, 地域構造

医 学 部 2学科	医 学 科	学科目	人体構造学, 代謝・機能学, 遺伝・発生・発達学, 病原体学, 薬理・中毒学, 病理学, 神経・精神・行動学, 消化器・検査医学, 内分泌代謝学, 血液学, 循環器・呼吸器学, 腎・尿路学, 運動器学, 皮膚科学, 感覚器医学, 免疫応答学, 産科婦人科学, 麻酔・救急・疼痛学, 放射線医学, 地域・産業保健学, 生命倫理・法医学
	看護学科	講 座	基礎看護学, 母子看護学, 成人・老年看護学, 地域・精神看護学
		附属施設	附属病院 附属地域医療医学センター

工 学 部 9学科 34講座	社会基盤工学科	講 座	地図マネジメント工学, 構造設計学, 環境保全学, 都市デザイン
	機械システム工学科		設計力学, 創造システム工学, 流体システム工学, 熱エネルギー工学
	応用化学科		分子設計工学, 物質変換工学, 物質機能工学
	電気電子工学科		固体電子工学, 電気エネルギー工学, 情報システム工学
	生命工学科		生体物質工学, 生体反応工学, 応用分子生物学, 生命情報工学
	応用情報学科		情報基礎, 情報環境, 知識情報, メディア情報
	機能材料工学科		材料創成工学, 材料物性工学, 材料プロセス工学
	人間情報システム工学科		人間支援システム工学, 知能制御システム工学, 機械情報工学, エネルギー制御工学
	数理デザイン工学科		計算数理, マテリアルデザイン, システムデザイン
		附属施設	ものづくり技術教育支援センター
		寄附講座	地盤防災・保全学講座（応用地質株式会社, 前田工織株式会社）

応用生物科学部 3課程 6コース	応用生命科学課程	コース	分子生命科学, 食品生命科学
	生産環境科学課程		応用植物科学, 応用動物科学, 環境生態科学
	獣医学課程		獣医学
		附属施設	附属岐阜フィールド科学教育研究センター 附属動物病院 附属野生動物管理学研究センター 《寄附研究部門：鳥獣対策研究部門（岐阜県）》 附属比較がんセンター



教育学部



地域科学部



医学部 / 同附属病院



工学部 / 応用生物科学部

大学院

教育学研究科	教職大学院課程	教職実践開発専攻	コース	学校改善, 授業開発, 教育臨床実践, 特別支援学校			
		心理発達支援専攻	コース	臨床心理学, 学校心理学, 特別支援教育			
	修士課程	カリキュラム開発専攻	専修	カリキュラム開発			
		教科教育専攻	専修	国語教育, 社会科教育, 数学教育, 理科教育, 音楽教育, 美術教育, 保健体育, 技術教育, 家政教育, 英語教育			
地域科学研究科	修士課程	地域政策専攻	領域	経済社会, 行政社会, 自然環境			
		地域文化専攻		社会生活, 人間文化			
医学系研究科	博士課程	医科学専攻	講座	分子・構造学	分野	細胞情報学, 分子生理学, 薬理病態学, 寄生虫学・感染学, 遺伝発生学, 内分泌代謝病態学, 小児病態学, 病態情報解析医学	
				病態制御学		解剖学, 分子病態学, 循環病態学, 呼吸病態学, 高度先進外科学, 整形外科学, 皮膚病態学, 泌尿器科学, 麻酔・疼痛制御学, 口腔病態学	
				神経統御学		高次神経形態学, 生理学, スポーツ医科学, 神経内科・老年学, 精神病理学, 脳神経外科学, 耳鼻咽喉科学, 眼科学, 脳病態解析学	
				腫瘍制御学		腫瘍病理学, 免疫病理学, 腫瘍外科学, 消化器病態学, 血液病態学, 産科婦人科学, 放射線医学, 疫学・予防医学, 臨床腫瘍学	
				医療管理学		医療情報学, 総合病態内科学, 臨床薬剤学, 医療経済学, 救急・災害医学, 法医学, 産業衛生学, 医学教育学	
				再生医科学専攻		講座	再生分子統御学
	再生工学	生命機能分子設計, 知能イメージ情報					
	再生応用学	循環呼吸制御学, 医学系倫理・社会医学					
	修士課程	看護学専攻	領域	看護学教育	分野	専門分野	看護学教育, 生体システム学
				母子看護学			母性看護学, 小児看護学
成人看護学				急性期看護学, 慢性期看護学			
地域健康援助学				地域看護学, 精神看護学, 老年看護学			
		寄附講座	脊椎関節節再建外科学講座(メトロニックソファモアダネック株式会社ほか), 乳腺・分子腫瘍学講座(中外製薬株式会社), 地域腫瘍学講座(岐阜県厚生農業協同組合連合会), 食物科学と循環器疾患講座(岐阜県厚生農業協同組合連合会), 周術期侵襲制御講座(岐阜県総合医療センター), がん先端医療開発学講座(株式会社ヤクルト本社)				
工学研究科	博士前期課程	社会基盤工学専攻	講座	地図マネジメント工学, 構造設計学, 環境保全学, 都市デザイン			
		機械システム工学専攻		設計力学, 創造システム工学, 流体システム工学, 熱エネルギー工学			
		応用化学専攻		分子設計工学, 物質変換工学, 物質機能工学			
		電気電子工学専攻		固体電子工学, 電気エネルギー工学, 情報システム工学			
		生命工学専攻		生体物質工学, 生体反応工学, 応用分子生物学, 生命情報工学			
		応用情報学専攻		情報基礎, 情報環境, 知識情報, メディア情報			
		機能材料工学専攻		材料創成工学, 材料物性工学, 材料プロセス工学			
		人間情報システム工学専攻		人間支援システム工学, 知能制御システム工学, 機械情報工学, エネルギー制御工学			
		数理デザイン工学専攻		計算数理, マテリアルデザイン, システムデザイン			
	環境エネルギーシステム専攻	環境システム, 再生可能エネルギーシステム, バイオマス変換システム, 新機能エネルギー材料学					
博士後期課程	生産開発システム工学専攻	講座	社会基盤工学, 生産基礎工学				
	物質工学専攻		応用材料化学, 応用分子化学				
	電子情報システム工学専攻		電子物性工学, 知識情報工学				
	環境エネルギーシステム専攻		環境システム, 再生可能エネルギーシステム, バイオマス変換システム, 新機能エネルギー材料学				
応用生物科学研究科	修士課程	資源生命科学専攻	コース	食品科学, 分子生命科学			
		生物環境科学専攻		生物生産科学, 環境生態科学			
連合農学研究科	博士課程	生物生産科学専攻	講座	植物生産管理学, 動物生産利用学			
		生物環境科学専攻		環境整備学, 生物環境管理学			
		生物資源科学専攻		生物資源利用学, スマートマテリアル科学, 生物機能制御学			
連合獣医学研究科	博士課程	獣医学専攻	講座	基礎獣医学, 病態獣医学, 応用獣医学, 臨床獣医学			
連合創薬医療情報研究科	博士課程	創薬科学専攻	領域	生命分子科学, システム生命工学			
		医療情報学専攻		生命情報, 生体制御			

図書館

平成 24 年 4 月 1 日現在

蔵 書 数						
区 分	図 書 (冊)			雑 誌 (種)		
	和 書	洋 書	計	和 雑 誌	洋 雑 誌	計
図 書 館	525,011	211,437	736,448	9,236	3,872	13,108
医学図書館	73,003	84,227	157,230	1,423	1,808	3,231

Elsevier や Springer 等の電子ジャーナル約 9,600 タイトル、ネットライブラリー等の電子ブック約 4,900 タイトル、Web of Science や SciFinderScholar 等のデータベースを導入している。

開館時間・休館日							
区 分	月～金曜日	土 曜 日	日 , 祝日 (試験期間のみ)	休 館 日			
図 書 館	9 : 00 ～ 21 : 30	10 : 00 ～ 18 : 00	10 : 00 ～ 18 : 00	日曜日 , 祝日 * 1)	夏季一斉休業日 (8.13 ～ 14) 年末年始 (12.28 ～ 1.5)	館内整理日 (第 2 火曜日) * 2)	各季休業期間及び 3 月の一部土曜日
医学図書館	8 : 30 ～ 20 : 00	10 : 00 ～ 18 : 00		日曜日 , 祝日	夏季一斉休業日 (8.13 ～ 14) 年末年始 (12.28 ～ 1.4)	館内整理日 (第 2 火曜日)	

備考 各季休業中及び 3 月は閉館時間を変更する場合がある。 * 1) 試験期間を除く。 * 2) 7 月 , 10 月 , 1 月及び 2 月を除く。

利用状況 (平成 23 年度)					
区 分		教職員	学 生	学外者	計
入館者数 (人)	図 書 館	蔵書スペース他	5,254	158,496	3,576
		ラーニング・コモンズ * 1)	39,933		
	医学図書館		6,928	36,598	2,429
	計		253,214		
貸出冊数 (冊)	図 書 館	3,048	33,930	1,226	38,204
	医学図書館	924	8,593	57	9,574
	計	3,972	42,523	1,283	47,778
文献複写数 (件)	図 書 館	11,780		1,355	13,135
	医学図書館	5,884		1,969	7,853
	計	17,664		3,324	20,988

備考 開館日数 図書館：283 日、医学図書館：277 日
* 1) 平成 23 年 4 月に新設の、グループ学習スペースや BBC 放送・各種新聞等が利用可能な学習支援の場



ラーニングコモンズ

コレクション	
コレクション名	摘 要
静嘉堂文庫所蔵国語学資料集成	国語学関係の写本・版本・活字本(明治時代) 472 点、769 冊のマイクロフィルム版
静嘉堂文庫所蔵歌学資料集成	和歌および連歌俳諧などの古典籍資料 1,333 点、3,192 冊のマイクロフィルム版
大東急記念文庫所蔵江戸文学総鑑	江戸文学 878 点、1,530 冊の原本のマイクロフィルム版
大東急記念文庫所蔵古写古版物語文学総鑑	古物語、説話物語、歴史物語などの物語文学 95 点、695 冊のマイクロフィルム版
環境問題研究コレクション	世界各地の環境問題研究の文献 雑誌 19 点、叢書 26 点、図書 200 冊のコレクション
明治・大正・昭和期教育関係新聞雑誌完全復刻版コレクション	明治・大正・昭和の教育関係新聞雑誌の完全復刻版コレクション
Landolt-Börnstein 数値表 第 1 群 原子核・素粒子物理学	原子核・素粒子物理学に関する数値表
ウェブスター：アメリカ英語辞書コレクション	ウェブスター辞書の 1806 年の初版本から 1943 年までに刊行された辞書の異版 100 点、108 冊の英語辞書コレクション
特別資料(貴重書)	本学の前身である岐阜師範学校、岐阜高等農林学校、県立医科大学当時に収集された江戸、明治時代の和本及び中国の漢籍を中心に約 1,500 点を特別資料庫に収蔵



大東急記念文庫所蔵
マイクロフィルム版の一部



ウェブスター：アメリカ英語辞書
コレクションの一部



貴重書の一部
奈良絵本「小しきぶ」2冊

医学部附属病院

医学部附属病院は、岐阜県下唯一の医学部附属病院、特定機能病院として先進・高度医療を担い、がん・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病・精神疾患といった、いわゆる 5 疾患及び救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療の 5 事業に積極的に取り組んでおり、難病疾患やがん、肝炎、AIDS の診療拠点病院に指定されている。

現在、国から高度救命救急センターに指定されており、院内の「高次救命治療センター」において、生命の危機に瀕している第三次救急患者の受け入れ、治療を行っている。また、平成 23 年 2 月からは、岐阜県ドクターヘリ事業の基地病院に指定され、ヘリを利用した、現場での救急医療や重症患者の搬送に活躍している。(平成 23 年度搬送実績 223 件) さらに、早産の未熟児や先天性疾患のある新生児を治療する新生児集中治療病床 (NICU)などを備えた新生児集中治療部を平成 24 年 4 月に開設し、岐阜県内における新生児医療の一翼を担っている。

医学部附属病院では、医療の質をより一層高めていくと同時に、医療の安全を確保し、一人ひとりの患者さんに対して最善の医療を提供できるようなチーム医療の実践と医療人の育成を行っていく。

平成 24 年 4 月 1 日現在

患 者 数 (平成 23 年度)		
入院	患者延数	168,879 人
	1 日平均患者数	462.7 人
	病床利用率	76.1%
	入院稼働日数	365 日
外来	初診患者数	18,349 人
	再診患者数	297,671 人
	計	316,020 人
	一日平均患者数	1,295.2 人
	外来診療日数	244 日

診療科及び病床数		
区 分	病床数	
第 1 内科	61	
第 2 内科	61	
第 3 内科	24	
神経内科・老年内科	12	
総合内科	12	
第 1 外科	44	
第 2 外科	44	
産科婦人科	35	
整形外科	38	
脳神経外科	32	
眼科	21	
耳鼻咽喉科	32	
皮膚科	20	
泌尿器科	24	
精神神経科	37	
小児科	36	
放射線科	6	
麻酔科・疼痛治療科	4	
歯科口腔外科	11	
高次救命治療センター	27	
ICU	6	
新生児集中治療部	12	
共通	15	
計	614	



医学部附属病院

中央診療施設等		
検査部	光学医療診療部	分娩部
手術部	高次救命治療センター	医療機器センター
放射線部	医療連携センター	高次画像診断センター
材料部	生体支援センター	治験管理センター
輸血部	がんセンター	新生児集中治療部
病理部	エイズ対策推進センター	栄養管理室
総合診療部	肝疾患診療支援センター	
医療情報部	リハビリテーション部	
危機管理室		
医療安全管理室		
薬 剤 部		
看 護 部		
診療録管理室		
卒後臨床研修センター		
内視鏡外科手術トレーニングセンター		

応用生物科学部附属動物病院

応用生物科学部附属動物病院は、獣医学の教育・研究・診療を実践する中部地区で唯一の施設である。近年の診療件数の増加に対応するため、またペットオーナーの求める高度な動物医療を提供するため、平成 22 年 4 月に新病棟とリニアック棟、同 24 年 4 月に MR I 棟を増築した。

新病棟は個室型の診察室、脳外科手術にも対応できる陽圧手術室、集中治療室などを備え、画像診断装置など最新の医療設備と電子カルテを導入した先進施設である。また、リニアック棟には国立大学では初めてとなる高エネルギー型放射線治療器、MR I 棟には MR I 磁気共鳴断層装置を導入した。

本院の特色は、伴侶動物を診療する内科、外科、腫瘍科、神経科と産業動物を診療する臨床繁殖科を設置していることである。内科、外科、腫瘍科、神経科には東海地区をはじめ近畿、北陸地区の個人病院から年間のべ約 8000 件の症例が紹介されてくる。一方、臨床繁殖科は年間のべ約 300 件の牛を診療するなど、岐阜地区における産業動物診療の一翼を担っている。

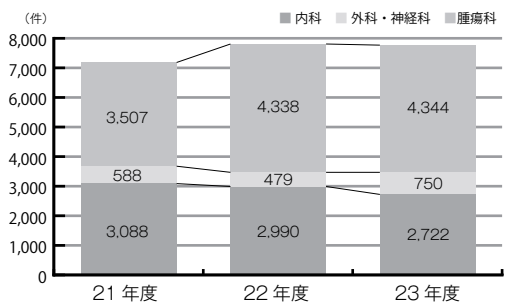


施設概要			平成 24 年 4 月 1 日現在
名称	床面積 (㎡)	主な施設	
新病棟	911	1 階：診察室（7 室）、超音波検査室、処置室、第 1 検査室、薬室、受付事務室 2 階：陽圧手術室、一般手術室（3 手術台）、手術準備室、集中治療室、回復室、仮眠室（2 室）	
リニアック棟・MR I 棟	327.55	高エネルギー型放射線治療室、磁気共鳴断層検査室、操作室	
本館（1 階）	438	内視鏡・腹腔鏡検査室、歯科診療室、X 線・画像解析室、第 2 検査室、相談室・病院長室、産業動物診療室	
本館（2 階）	68	遺伝子検査室、スタッフ室	
CT 棟	47	X 線 CT 撮影室、操作室	
入院棟	260	入院室（犬用）、入院室（猫用）、供血動物室（犬・猫）、ポリクリ診療室、ミーティング室	
合 計	2,051.55		

動物種類別の診療件数（延べ）

年度	伴侶動物（件数）				産業動物（件数）					総計
	犬	猫	その他	計	牛	馬	豚	鶏・山羊	計	
21	6,235	945	2	7,182	404	4	0	1	409	7,591
22	6,913	891	1	7,805	284	6	0	0	290	8,095
23	6,742	1,070	2	7,814	202	4	0	4	210	8,024

内科、外科・神経科、腫瘍科の診療件数（延べ）の推移



全国共同利用施設

【医学教育共同利用拠点】医学教育開発研究センター

医学教育に貢献できる人材育成と国内外の医学教育機関との連携・共同研究を推進する。2010 年 4 月には全国唯一の「医学教育共同利用拠点」として文部科学省から認定された。

チュートリアル部門では少人数能動型の問題基盤型学習(PBL)の普及・改善に取り組み、バーチャルスキル部門では、模擬患者参加型のコミュニケーション教育・シミュレーション教育の開発に取り組んでいる。アウトカム基盤型医学教育、コンピュータ支援学習、ポートフォリオ評価システム、国際交流と医療英語教育にも力を入れている。毎年 4 回開催する「医学教育セミナーとワークショップ」は全国規模の教員養成プログラムとして高く評価されている。[チュートリアル部門、バーチャルスキル部門]



チュートリアル教育



模擬患者実習



医学教育ワークショップ



スキルラボ実習

学内共同教育研究施設等

教養教育推進センター

「知的思考ができる専門家としての能力を獲得し、豊かな人間性を備えた市民としての学生」の育成のため、全学部の教員が全学生に対して行う教養教育に関し、授業編成、教材開発、点検・評価、教養教育に係わる調査研究等の総合的推進を図る。

[授業編成開発部門、評価推進部門、調査研究部門]

流域圏科学研究センター

流域圏における森林・草原生態系、河川・水系及び土壌・地盤系の多様な自然科学的事象、並びに、人為的影響の解明に関する学術研究の遂行と成果の実際への貢献を目的として、多様な研究教育プログラムを活用して国際的な水準での研究活動と人材育成を行いながら「衛星生態学創生拠点」や「流域水環境リーダー育成拠点」の形成を強力に推進し、同時に、安全安心で豊かな自然環境を有する地域づくりに寄与する。

生命科学総合研究支援センター

ゲノム・プロテオーム解析や遺伝子組換え、ナノテクノロジー、放射性同位元素を用いた技術、大型分析機器を用い、生命科学に関連する先進的分野の教育研究を行うとともに放射性同位元素、実験動物、大型分析機器の管理など、学内の研究を推進・支援する。
[ゲノム研究分野、嫌気性菌研究分野、動物実験分野、機器分析分野、RI 管理室]

総合情報メディアセンター

学内情報ネットワークシステムの整備及び情報関連設備の学内への提供等を行うとともに、情報メディアの活用、e-Learning システム、地域連携システム等の開発研究を行い、本学における教育・研究・業務の高度情報化の総合的な推進を図る。
[高度情報システム開発研究部門、情報メディア開発研究部門、カリキュラム開発研究部門、生涯学習システム開発研究部門、情報システム管理部門]

留学生センター

外国人留学生の日本語・日本事情に関する教育、外国人留学生の修学・生活上の相談や指導・助言を行うほか、海外留学を希望する日本人学生に対して指導・助言、修学支援を行っている。さらに、学術交流協定校とのサマースクール(受入れ及び派遣)の企画・運営、本学共通教育における日本人学生と外国人留学生を対象とした異文化交流に関する授業も実施し、留学生交流を中心に大学の国際化の推進に寄与している。

平成 24 年 4 月留学生センター棟内に、新たに「交流ラウンジ」を開設した。ラウンジでは外国人留学生と日本人学生等との交流や学習、留学等の情報収集の場として多様な活動を通し、本学の留学生交流の促進を期待している。

保健管理センター

学生及び職員の健康増進、並びに学生の安全衛生環境保持・改善を図ることを主な目的とし、学内の保健計画の立案・実践について指導援助している。学生の健康診断の実施とそれに基づく生涯の健康を守るための保健指導、就学支援、救急処置、健康相談、健康啓発活動と、その業務は多彩である。

また、学生の健康に関する調査・研究を行い、学内の施策提言につなげているほか、県内の各大学と協働し、その中核として大学生の健康管理に関する研究会を主催し、地域貢献を担っている。

キャリアセンター

学生一人一人の社会的・職業的自立に向けてのキャリアプランニング能力や基盤的能力を育成し、キャリア発達を促す教育(キャリア教育)の実践のため、彼らの相談窓口として、キャリア形成と就職の支援活動を担い、そのために①学生全体に対するキャリア教育、②学生への個別的・具体的な就職・キャリア支援、③学生の自主活動の体系的支援の 3 つの取り組みを行う。

イノベーション創出若手人材養成センター

イノベーション創出の中核となる若手研究人材を、狭い学問分野の専門能力だけでなく、産業界などの実社会のニーズを踏まえた発想や国際的で幅広い視野を身に付けた人材として養成する。
実践プログラムでは、学内外から選抜した若手研究者にイノベーションスキル・プログラム(アイデア・トレーニングキャンプ、エンライトメント・レクチャー及びビジネス英語)や国際ディスカッションキャンプを実施後に、学外研修プログラム(産学連携教育研究プログラム・企業派遣コースまたは国際教育研究プログラム・海外派遣コース)を実施する。



教養教育推進センター



流域圏科学研究センター



ゲノム研究分野棟



総合情報メディアセンター A 館



留学生センター



保健管理センター



キャリアセンター



イノベーション創出若手人材養成センター

特色ある教育改革の取り組み

文部科学省は、大学改革の取組が一層推進されるよう、競争的環境の下で、各大学等の特色・個性ある優れた取組を選定、支援している。
岐阜大学は、各種プログラムに積極的に応募し、採択されている。

教育改革プロジェクト (GP)

年 度	プログラム名	拠点／実施部局等
特色ある大学教育支援プログラム(特色 GP)		
平成 15 ～ 18 年度	能動・思考促進型を柱とする全人的医学教育	医学部
平成 16 ～ 19 年度	地域・大学共生型教師教育システム	教育学部
現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代 GP)		
平成 16 ～ 18 年度	地域協学型の風土保全教育プログラム ーぎふ公民館大学ー	応用生物科学部, 地域科学部
平成 16 ～ 18 年度	教師のための遠隔大学院カリキュラムの開発	教育学部
平成 19 ～ 21 年度	臨床医学教育を強化向上させる ICT ー e-Learning で増う医の心と技ー	医学部医学教育開発研究センター
資質の高い教員養成推進プログラム(教員養成 GP)		
平成 18 ～ 19 年度	教育臨床実習重視の教師発達支援プログラム	教育学部
新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(学生支援 GP)		
平成 19 ～ 22 年度	生涯健康を目指した学生健康支援プログラム	保健管理センター
大学院教育改革支援プログラム (大学院 GP)		
平成 20 ～ 22 年度	グローバル化に向けた実践獣医学教育の推進	大学院連合獣医学研究科
大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム		
平成 20 ～ 22 年度	国際的視点に立つ創業研究者養成のための実践的な教育研究システム	岐阜大学, 岐阜薬科大学
平成 21 ～ 23 年度	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜を基盤とした 駅前サテライト型教育システムの構築	岐阜大学, 岐阜県内 21 大学等
平成 21 ～ 23 年度	獣医・動物医科学系教育コンソーシアムによる 社会の安全・安心に貢献する人材の育成	鳥取大学, 岐阜大学, 京都産業大学
口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境の整備		
平成 22 年度	産業動物分野の臨床実習の充実・強化	応用生物科学部
平成 22 年度	感染症等対策分野の参加型実習の充実・強化	応用生物科学部
平成 23 ～ 25 年度	産業動物診療分野における全国的臨床実習システムの構築	応用生物科学部
本事業は、産業動物臨床に必要な実践的かつ高度な専門知識・技能を有し、社会的ニーズに対応できる獣医師養成の一環として、「総合的産業動物臨床実習システム」を構築することを目的とし、全国大学獣医学関係代表者協議会を通じて、全国の大学と連携・協力のもとに実施する。具体的には、代表校である岐阜大学（中部・関西・関東担当）と協力校である酪農学園大学（北海道担当）、北里大学（東北・関東担当）及び鹿児島大学（九州・中国担当）が共同して、外部専門機関（日本中央競馬会、全国農業共済組合等）と連携し、全国の獣医系大学の学生を対象とした、質の高い実習機会を確保する。		

科学技術戦略推進費

科学技術戦略推進費は、総合科学技術会議が各府省の施策を俯瞰し、それを踏まえて立案する政策を実施するために必要な施設に活用するもので、岐阜大学は、各種プロジェクトに積極的に応募し、採択されている。（旧科学技術振興調整費）

年 度	課 題 名
戦略的環境リーダー育成拠点形成	
平成 21 ～ 25 年度	岐阜大学流域水環境リーダー育成拠点形成
工学研究科社会基盤工学専攻と環境エネルギーシステム専攻、応用生物科学研究科生物環境科学専攻、流域圏科学研究センターおよび地域科学研究科等の部局が有機的に連携し、既存のカリキュラムに新しいカリキュラムを組み合わせた特色のある教育プログラム、留学生支援体制、国内外の実務経験者を迎えた教育研究指導体制のもと、発展途上国が直面する水質・水資源・農業灌漑用水・生態などの極めて深刻である流域水環境分野の問題を多角的な視野で的確に理解し、戦略的な解決策と発生防止策を設計・施行する環境リーダー（国内リーダーと国外リーダー）を育成する。	

科学技術人材育成費

科学技術人材育成費は、科学技術活動の基盤となる人材の育成・確保や社会の多様な場における活躍促進により、研究活動を活性化するために必要な施策に活用するもので、岐阜大学は、各種プロジェクトに積極的に応募し、採択されている。（旧科学技術振興調整費）

年 度	課 題 名
女性研究者支援モデル育成	
平成 22 ～ 24 年度	多様性活力発揮に向けての女性研究者支援
本事業は、岐阜大学の多様性活力発揮に向けてのプログラムである。男女共同参画推進室が中心となって、次の取組みを行う。 ① 教職員の意識改革としての啓発・広報事業の実施 ② 女子学生の研究職就業支援としてのロールモデル提示、研究者との交流拠点「カモミール・カフェ」の運用、小中高等学校での女子学生出前講義の実施 ③ 出産・育児・介護等支援のための研究支援者配置、メンター制度実施、休憩室整備、保育園充実、テレワークシステム試行運用による女性研究者支援 ④ 人的資源循環をめざした岐阜県・岐阜労働局・NPO等と協働での女性研究者人材バンク充実、研究中断者の再チャレンジ支援 以上の取組みを通して、女性研究者、女性リーダーを増やすとともに、大学および地域の活性化を目指す。	
イノベーション創出若手人材養成	
平成 22 ～ 26 年度	産業牽引型イノベーション創出若手人材養成
本事業は、高度な研究キャリアをもち、自動車、航空機、ロボット、セラミックス、バイオ、医療等の飛騨・美濃・尾張地域の新産業の牽引に必要な、マネジメント力、コミュニケーション力、協調性、創造性を備え、国際的な広い視野と実社会のニーズを踏まえた発想を身につけた若手研究人材の養成を目的としている。 実践プログラムの内容は、アイデア・トレーニング・キャンプ、エンライトメント・レクチャー（啓発講義）、ビジネス英語の座学及び学外研修プログラム（企業派遣コース・海外派遣コース、約3－6ヶ月）の4つのプログラムで構成されている。 また、国際化教育プログラムの一環として、学術交流協定校であるソウル科学技術大学（韓国）、カンピーナス大学（ブラジル）との日韓伯合同の国際交流プログラムを実施する。	
テニュアトラック普及定着事業	
平成 23 ～ 27 年度	テニュアトラック普及定着事業
本事業は、岐阜大学の中期目標・中期計画に掲げる環境科学や生命科学系の研究を柱とした独創的、先進的な研究拠点を形成するための優秀な若手研究者を確保するため、新たな人事制度として、テニュアトラック制度を構築するものである。 具体的には、国際公募の実施によって国内外の若手研究者の応募を促し、公正で透明性の高い選考方法により採用し、任期付雇用形態（テニュアトラック）から審査を経て任期のないより安定的な職を得るよう、また、研究主宰者として自立した研究活動の中で研究活動を実施できるよう組織的な支援を行う。	

理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー)養成拠点構築事業

(独)科学技術振興機構が公募した「理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー)養成拠点構築事業」について、本学が採択された。

年 度	プログラム名	拠 点
平成 21 ～ 24 年度	教育委員会と大学理工学部群が連携した 自律的成長プログラムによる CST の養成	岐阜大学, 岐阜県教育委員会
本学と岐阜県教育委員会が連携して理数系教員養成拠点を構築し、小中学校の理科教育において中核的に活動できる人材（CST）を持続的に養成する。 CST は、学部生を対象とした「初級コースプログラム」に加え、学校での理科教育実践を積んだ若手理科教員対象の「中級コースプログラム」、さらに即戦力として地域で理科教育の指導を行うことができる「上級コースプログラム」を設置し、優れた授業実践を踏まえた実践論文作成指導を繰り返すことで、教員が自律的に成長するしくみを組み込んだプログラムを実現させる。		

体系的な社会人基礎力育成・評価システム開発・実証事業

経済産業省が公募した「体系的な社会人基礎力育成・評価システム開発・実証事業」について、平成 21 年度の委託先として本学が採択された。

年 度	事業名称
平成 21 年度	全学的な社会人基礎力育成をめざす教育システムの開発

学生数

学部学生

学 部		入 学 員	編入学	現 員						計
				1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	5 年次	6 年次	
教育学部		250		260 (139)	265 (147)	266 (161)	291 (169)			1,082 (616)
地域科学部		100	10	108 (60)	109 (63)	116 (75)	136 (74)			469 (272)
医 学 部	医学科	107		2 (1)	2 (1)	2 (2)	4 (4)			10 (8)
				113 (27)	106 (21)	116 (27)	95 (23)	85 (25)	71 (14)	586 (137)
	看護学科	80	10	1 (0)			1 (1)	2 (2)		4 (3)
工 学 部		510	30	81 (80)	78 (73)	88 (84)	82 (78)			329 (315)
応用生物科学部	応用生命科学課程* 生産環境科学課程	160	10	5 (1)	6 (2)	12 (5)	16 (3)			39 (11)
				542 (65)	551 (76)	591 (67)	721 (83)			2,405 (291)
	獣医学課程	25	5	168 (89)	164 (91)	182 (108)	181 (110)			695 (398)
学部学生 合計		1,232	65	28 (17)	34 (13)	33 (23)	31 (16)	35 (20)	33 (14)	194 (103)
				1,300 (477)	1,307 (484)	1,392 (545)	1,537 (553)	120 (45)	104 (28)	5,760 (2,132)
				8 (2)	8 (3)	14 (7)	21 (8)	2 (2)	0 (0)	53 (22)

現員には外国人留学生を含み、() 内は女子を、下段は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。 * 応用生命科学課程の現員には、名称変更前の食品生命科学課程の在籍者を含む。

大学院生

教職大学院課程

研 究 科	課 程	入 学 定 員	現 員			学 位 名
			1 年次	2 年次	計	
教育学研究科	教職大学院課程	20	19 (3)	20 (2)	39 (5)	教職修士(専門職)
					0 (0)	

修士課程、博士前期課程

研 究 科	課 程	入学定員	現 員			学 位 名
			1 年次	2 年次	計	
教育学研究科	修士課程	49	45 (28)	63 (34)	108 (62)	修士(教育学)
地域科学研究科	修士課程	20	4 (4)	7 (7)	11 (11)	修士(地域科学)
			17 (10)	36 (22)	53 (32)	
	修士課程	8	11 (8)	17 (13)	28 (21)	修士(看護学)
医学系研究科	修士課程	8	6 (5)	22 (17)	28 (22)	修士(看護学)
					0 (0)	
	博士前期課程	11	9 (0)	11 (3)	20 (3)	修士(再生医科学)
工学研究科	博士前期課程	275	1 (0)	1 (0)	1 (0)	修士(工学)
			315 (40)	336 (36)	651 (76)	
	修士課程	89	20 (8)	25 (12)	45 (20)	修士(工学)
応用生物科学研究科	修士課程	89	101 (42)	104 (42)	205 (84)	修士(応用生物科学)
			15 (11)	18 (11)	33 (22)	

博士課程、博士後期課程、後期 3 年のみの博士課程

研究科	課程	入学定員	現 員						学位名
			1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	計		
医学系研究科*	博士課程	47	27 (2) 1 (0)	36 (6) 1 (0)	32 (8)	93 (17) 6 (1)	188 (33) 8 (1)	博士 (医学)	
	博士後期課程	6	3 (1)	2 (2) 1 (1)	12 (4)		17 (7) 1 (1)	博士 (再生医科学)	
工学研究科	博士後期課程	27	38 (8) 18 (6)	14 (2) 6 (2)	37 (6) 15 (4)		89 (16) 39 (12)	博士 (工学)	
	後期 3 年のみの 博士課程	20	24 (11) 11 (6)	23 (10) 12 (6)	50 (16) 22 (9)		97 (37) 45 (21)	博士 (農学)	
連合獣医学研究科	博士課程	20	28 (9) 5 (0)	31 (11) 10 (4)	29 (11) 10 (3)	34 (7) 4 (1)	122 (38) 29 (8)	博士 (獣医学)	
連合創薬医療情報 研究科	後期 3 年のみの 博士課程	6	6 (2) 1 (0)	4 (2) 1 (0)	11 (2) 2 (1)		21 (6) 4 (1)	博士 (工学又は 医科学又は薬科学)	

大学院生 合計		598							1,638 (421)
									244 (118)

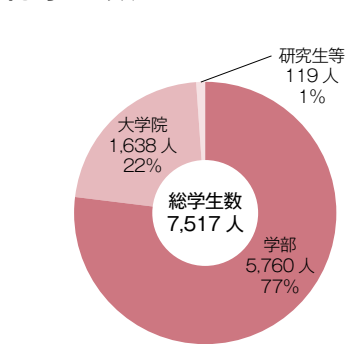
現員には外国人留学生を含み、() 内は女子を、下段は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。 * 医学系研究科の現員には、改組前の医学研究科の在籍者を含む。

研究生・科目等履修生・聴講生等

部 局 等	研 究 生	特別研究学生	科目等履修生	聴 講 生	特別聴講学生	現職教育内地留学生	日本語・日本文化研修留学生	計
教育 学 部			3	1	1 (1)	1		6 (1)
地域科学部	8 (8)			3	2 (2)			13 (10)
医 学 部	33 (3)			1				34 (3)
工 学 部	12 (7)		1		1 (1)			14 (8)
応用生物科学部	7 (3)							7 (3)
教育学研究科	4 (4)		2	1				7 (4)
地域科学研究科		1 (1)	1					2 (1)
医学系研究科		4	2					6
工学研究科		7 (4)			3			10 (4)
流域圏科学研究センター	1							1
留学生センター					7 (7)		8 (8)	15 (15)
ネットワーク大学コンソーシアム岐阜 *					4			4
合 計	65 (25)	12 (5)	9	6	18 (11)	1	8 (8)	119 (49)

* ネットワーク大学コンソーシアム岐阜とは、岐阜県と県内 21 大学等からなる大学連合。学生は、単位互換制度のもとに他大学の授業を受講し、単位を修得すれば自校の単位として認定される。() 内は外国人留学生を内数で示す。

総学生数



附属学校

学 校 名	学 級 別	学 級	入 学 定 員	現 員
教育学部附属小学校	通 常 学 級	18	105	705
	特別支援学級	3	若干名	17
教育学部附属中学校	通 常 学 級	12	160	477
	特別支援学級	3	8	23
合 計				1,222

入学状況

学部

学 部		募集人員	志願者数			入学者数		
			男	女	計	男	女	計
教 育 学 部		250	879	959	1,838	121	139	260
地域科学部		100 (10)	259	338	597 (31)	47	59	106 (10)
医 学 部	医学科	107	2,061	727	2,788	80	27	107
	看護学科	80 (10)	28	356	384 (27)	1	79	80 (0)
工 学 部		510 (30)	2,167	397	2,564 (133)	466	64	530 (45)
応用生物科学部	応用生命科学課程 生産環境科学課程	160 (10)	304	361	665 (53)	79	89	168 (10)
	獣医学課程	25 (5)	60	96	156 (54)	11	17	28 (5)
合 計		1,232 (65)	5,758	3,234	8,992 (298)	805	474	1,279 (70)

() 内は編入学を外数で示す。私費外国人留学生等(定員外)を除く。

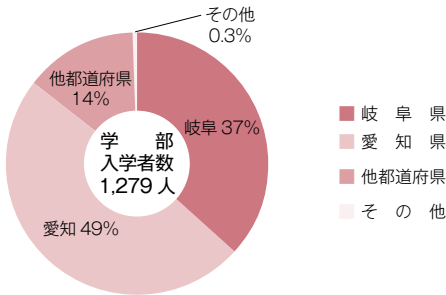
大学院

大 学 院		募集人員	志願者数			入学者数		
			男	女	計	男	女	計
教育学研究科	教職大学院課程	20	17	5	22	16	3	19
	修士課程	49	29	43	72	17	28	45
地域科学研究科		20	9	17	26	7	10	17
医学系研究科	修士課程	8	1	8	9	1	5	6
	博士課程	47	26	3	29	25	2	27
	博士前期課程	11	9	0	9	9	0	9
	博士後期課程	6	4	1	5	2	1	3
工学研究科	博士前期課程	275	387	48	435	275	40	315
	博士後期課程	27	28	8	36	25	7	32
応用生物科学研究科		89	78	57	135	59	42	101
連合農学研究科		20	12	11	23	12	10	22
連合獣医学研究科		20	18	6	24	14	5	19
連合創薬医療情報研究科		6	2	2	4	2	2	4
合 計		598	620	209	829	464	155	619

出身高校等の所在地別入学状況(学部)

学 部	岐 阜 県	愛 知 県	三 重 県	滋 賀 県	静 岡 県	福 井 県	長 野 県	大 阪 府	石 川 県	兵 庫 県	他 都 道 府 県	* 其 他	計
教 育 学 部	136	105	7	1	2	2			2		5		260
地域科学部	55	41	3	2	1			1			2	1	106
医 学 部	80	63	2	2	1	1	4	4		3	25	2	187
工 学 部	144	323	17	10	10	5	3	2	2	4	9	1	530
応用生物科学部	57	93	6	5	5	4	1	1	3		21		196
合 計	472	625	35	20	19	12	8	8	7	7	62	4	1,279

私費外国人留学生等(定員外)を除く。 *高等学校卒業程度認定試験・外国の学校。

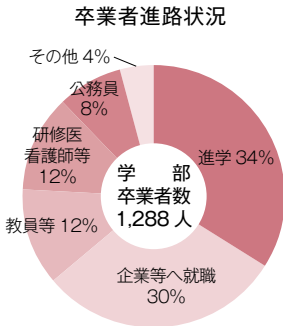


学部卒業生数・進路状況

学部卒業生数

学 部 名		平成 23 年度	累 計
教 育 学 部		253	16,679
地域科学部		109	1,353
医 学 部		164	4,170
工 学 部	昼間コース	565	20,390
	夜間主コース	0	846
応用生物科学部*		197	11,933
計		1,288	55,371

*農学部卒業生を含む。



平成23年度卒業生進路状況

区 分	学部名		医 学 部		工 学 部		応用生物科学部	計
	教育学部	地域科学部	医 学 科	看護学科	昼間コース	夜間コース		
卒 業 者 数	253 (168)	109 (69)	78 (19)	86 (82)	565 (77)		197 (105)	1,288 (520)
進 学 者 数	32 (17)	4 (3)		3 (3)	312 (34)		79 (31)	430 (88)
就 職 者 数	211 (143)	97 (61)		83 (79)	227 (41)		110 (70)	728 (394)
社会人学生(現職に留まる者)								
臨床研修医			74 (18)					74 (18)
そ の 他	10 (8)	8 (5)	4 (1)		26 (2)		8 (4)	56 (20)

産業別状況

産業分類	学部名		医 学 部		工 学 部		応用生物科学部	計
	教育学部	地域科学部	医 学 科	看護学科	昼間コース	夜間コース		
農業、林業、漁業							10 (6)	10 (6)
鉱業、採石業、砂利採取業							1 (1)	1 (1)
建設業	2 (2)	2			27 (2)		2 (1)	33 (5)
製造業	6 (4)	11 (7)			116 (18)		22 (15)	155 (44)
電気・ガス・熱供給・水道業	1 (1)				3		1 (1)	5 (2)
情報通信業	3 (3)	4 (2)			24 (7)			31 (12)
運輸業、郵便業		2 (2)			11 (2)			13 (4)
卸売業・小売業	8 (7)	10 (4)			6 (4)		9 (4)	33 (19)
金融業・保険業	7 (6)	13 (10)			2 (1)		1 (1)	23 (18)
不動産取引・賃貸・管理業		1 (1)			1			2 (1)
学術研究、専門・技術サービス業	5 (4)	1 (1)			1		22 (13)	29 (18)
宿泊業、飲食サービス業	1	3 (3)					4 (3)	8 (6)
生活関連サービス業、娯楽業		1 (1)					2 (2)	3 (3)
学校教育	148 (96)	2		1 (1)	3 (1)		5 (4)	159 (102)
その他の教育・学習支援業	5 (5)	1 (1)			1		2 (2)	9 (8)
医療業・保健衛生	1 (1)	3 (2)		82 (78)			1 (1)	87 (82)
社会保険・社会福祉・介護事業	1 (1)	3 (2)			1 (1)		2 (2)	7 (6)
複合サービス事業	1 (1)	3 (3)			2 (1)		2 (2)	8 (7)
宗教、その他のサービス業	3 (1)	8 (6)			3 (1)		2 (1)	16 (9)
国家公務		3 (1)			3		6 (2)	12 (3)
地方公務	19 (11)	26 (15)			23 (3)		16 (9)	84 (38)
その他								
計	211 (143)	97 (61)		83 (79)	227 (41)		110 (70)	728 (394)

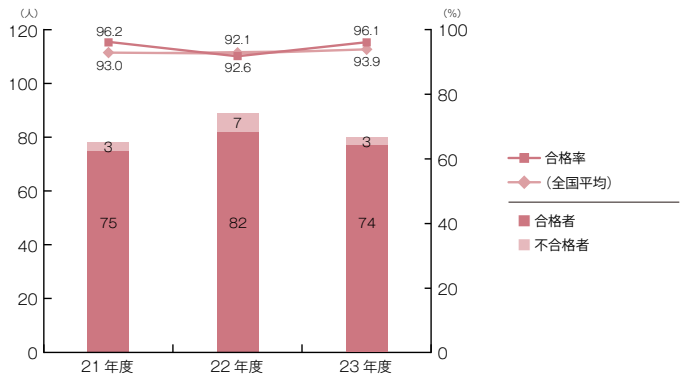
() 内は女子を内数で示す。

国家試験合格状況・教員採用状況

医師国家試験合格状況

	21 年度	22 年度	23 年度
受験者数	78	89	77
合格者数	75	82	74
不合格者数	3	7	3
合格率	96.2%	92.1%	96.1%
(全国平均)	93.0%	92.6%	93.9%

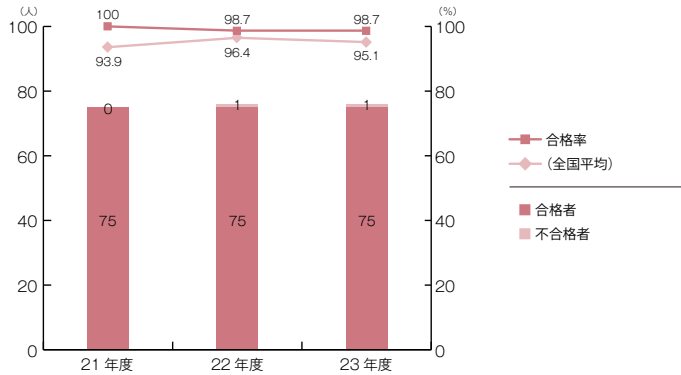
*新卒者のみ



看護師国家試験合格状況

	21 年度	22 年度	23 年度
受験者数	75	76	76
合格者数	75	75	75
不合格者数	0	1	1
合格率	100.0%	98.7%	98.7%
(全国平均)	93.9%	96.4%	95.1%

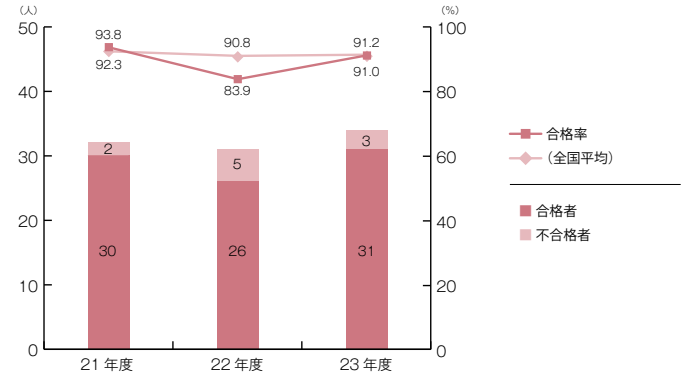
*新卒者のみ



獣医師国家試験合格状況

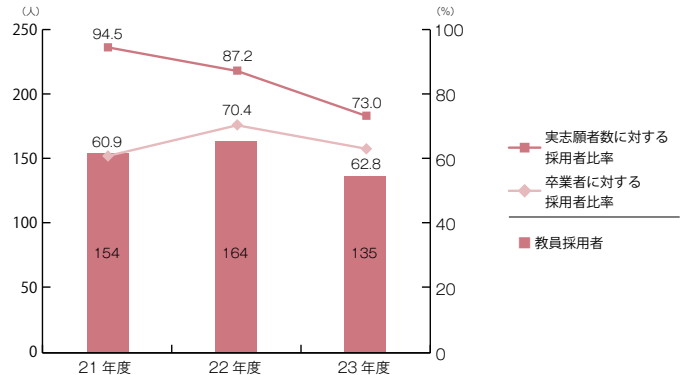
	21 年度	22 年度	23 年度
受験者数	32	31	34
合格者数	30	26	31
不合格者数	2	5	3
合格率	93.8%	83.9%	91.2%
(全国平均)	92.3%	90.8%	91.0%

*新卒者のみ



教員採用率（教育学部）

	21 年度	22 年度	23 年度
卒業生数	253	233	215
教員実志願者数	163	188	185
教員採用者数	154	164	135
(うち臨時採用者数)	60	59	40
志願者数に対する採用者比率	94.5%	87.2%	73.0%
卒業生に対する採用者比率	60.9%	70.4%	62.8%



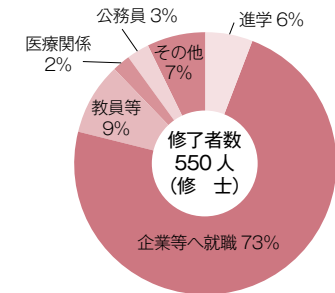
大学院修了者数・進路状況

学位授与者数（修士）

修 士	平成 23 年度	累 計
教 育 学	63	992
地 域 科 学	13	199
再生医科学	14	137
看 護 学	6	38
工 学	358	6,061
応用生物科学*	96	2,362
計	550	9,789

*農学の学位授与者を含む

修士・博士前期課程修了者進路状況



平成23年度修了者進路状況（修士・博士前期課程）

進路状況

区 分	教育学研究科		教育学研究科		地域科学研究科		医学系研究科		医学系研究科		工学研究科		応用生物科学研究科		計
	修士課程	専門職学位課程	修士課程	修士課程	修士課程	修士課程	博士前期課程	博士前期課程	博士前期課程	博士前期課程	修士課程	修士課程	修士課程	修士課程	
修了者数	39	(17)	24	(7)	13	(10)	6	(6)	14	(3)	358	(42)	96	(45)	550 (130)
進学者数	1	(1)							1		23	(7)	9	(6)	34 (14)
就 職 者 数	25	(12)	10	(4)	7	(6)	1	(1)	13	(3)	320	(31)	75	(32)	451 (89)
社会人学生（現職に留まる者）	7	(2)	14	(3)			3	(3)			3				27 (8)
その他	6	(2)			6	(4)	2	(2)			12	(4)	12	(7)	38 (19)

平成 24 年 5 月 1 日現在 (人)

産業別状況

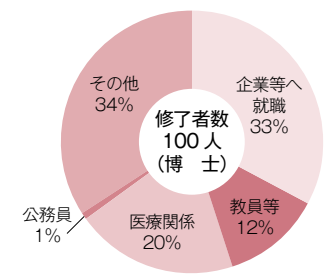
産業分類	教育学研究科		教育学研究科		地域科学研究科		医学系研究科		医学系研究科		工学研究科		応用生物科学研究科		計
	修士課程	専門職学位課程	修士課程	修士課程	修士課程	修士課程	博士前期課程	博士前期課程	博士前期課程	博士前期課程	修士課程	修士課程	修士課程	修士課程	
農業、林業、漁業													6	(2)	6 (2)
鉱業、採石業、砂利採取業															
建設業					1	(1)					20		1		22 (1)
製造業	1	(1)			3	(2)		3			230	(27)	38	(16)	275 (46)
電気・ガス・熱供給・水道業											8	(1)			8 (1)
情報通信業								5	(1)		31	(2)	1	(1)	37 (4)
運輸業、郵便業								1			8				9
卸売業・小売業											2		4	(1)	6 (1)
金融業・保険業											2				2
不動産取引・賃貸・管理業											1				1
学術研究、専門・技術サービス業								2	(2)		6		8	(6)	16 (8)
宿泊業、飲食サービス業															
生活関連サービス業、娯楽業															
学校教育	21	(7)	22	(7)			2	(2)			2		3	(2)	50 (18)
その他の教育・学習支援業	1	(1)											2	(1)	3 (2)
医療業・保健衛生	8	(5)					2	(2)	1		1				12 (7)
社会保険・社会福祉・介護事業	1				2	(2)		1							4 (2)
複合サービス事業											2		1		3
宗教、その他のサービス業					1	(1)					2	(1)	3	(1)	6 (3)
国家公務											1		1	(1)	2 (1)
地方公務											7		6	(1)	15 (1)
その他													1		1
計	32	(14)	24	(7)	7	(6)	4	(4)	13	(3)	323	(31)	75	(32)	478 (97)

() 内は、女子を内数で示す。

学位授与者数（博士）

博 士		平成 23 年度	累 計
医 学	課程博士	24	834
	論文博士	3	1,452
再生医科学	課程博士	7	57
	論文博士	2	4
工 学	課程博士	18	426
	論文博士	0	67
農 学	課程博士	19	583
	論文博士	3	137
獣 医 学	課程博士	22	363
	論文博士	6	114
薬 科 学	課程博士	4	9
	論文博士	2	2
医 科 学	課程博士	1	3
	論文博士	0	0
計		111	4,051

博士・博士後期課程修了者進路状況



平成23年度修了者進路状況（博士・博士後期課程）

区 分	研究科名	医学系研究科	医学系研究科	工学研究科	連合農学研究科	連合獣医学研究科	連合創薬医療情報研究科	計
		博士後期課程	博士課程	博士後期課程	博士課程	博士課程	博士課程	
修了者数		8 (2)	24 (3)	16 (3)	22 (9)	22 (10)	8 (2)	100 (29)
進学者数								
就 職 者 数		1	9 (2)	6 (1)	3 (1)	15 (6)		34 (10)
社会人学生（現職に留まる者）		5 (2)	11	8 (1)	3	3 (1)	2	32 (4)
その他		2	4 (1)	2 (1)	16 (8)	4 (3)	6 (2)	34 (15)

産業別状況

産業分類	研究科名	医学系研究科	医学系研究科	工学研究科	連合農学研究科	連合獣医学研究科	連合創薬医療情報研究科	計
		博士後期課程	博士課程	博士後期課程	博士課程	博士課程	博士課程	
農業、林業、漁業					1			1
鉱業、採石業、砂利採取業								
建設業				5				5
製造業				6 (1)	1 (1)	5 (3)	2	14 (5)
電気・ガス・熱供給・水道業								
情報通信業								
運輸業、郵便業								
卸売業・小売業								
金融業・保険業								
不動産取引・賃貸・管理業								
学術研究、専門・技術サービス業	1				2	7 (1)		10 (1)
宿泊業、飲食サービス業								
生活関連サービス業、娯楽業								
学校教育	2 (1)	3		3 (1)	1	3 (1)		12 (3)
その他の教育・学習支援業						3 (2)		3 (2)
医療業・保健衛生	2	17 (2)			1			20 (2)
社会保険・社会福祉・介護事業								
複合サービス事業								
宗教、その他のサービス業								
国家公務								
地方公務	1 (1)							1 (1)
その他								
計		6 (2)	20 (2)	14 (2)	6 (1)	18 (7)	2	66 (14)

（ ）内は、女子を内数で示す。修了者数には単位修得退学者を含む。医学系研究科（博士課程）には、医学研究科を含む。

学生支援施設

福利厚生施設等

施 設 名	食堂・喫茶	売 店	課外活動	相談窓口
大学会館	第1食堂（492席） 自動販売機コーナー 共用談話室 ルポ（ラーメン・丼 専門店）	売店、書店 現金自動預金支払機	大ホール 音楽鑑賞室 第1～第6集会室 第9～第11集会室（9.11和室）	キャリアセンター カモミール・カフェ
第2食堂	ホール（540席） コンビニコーナー（PECO）（35席）	売店、書店 生協紹介コーナー		大学会館
医 学 部 教育・福利棟	医学部食堂（132席）			

学生寮

施 設 名	室 数	収容定員
黒 野 寮 （岐阜市柳戸1番1）	200（男性）	200
	75（女性）	75



黒野寮

体育施設・課外活動施設

施 設 名		施設の内容	施 設 名	施設の内容
屋内体育施設	体 育 館	第1体育館、第2体育館 更衣室（ロッカー・シャワー）、器具庫 フィットネスルーム	体育系サークル共用施設	共用室10室（1室2サークル）、 会議室1室
	武 道 場	（剣道場、柔道場）	文化系サークル共用施設	共用室10室（1室和室） （1室2～4サークル）
	弓 道 場		合 宿 所	研修室（宿泊室と兼用）4室、 浴室、補食室
屋外体育施設	陸上競技場	400 m 8 コース	学外合宿研究施設	宿泊室30室、ホール 談話室2室 研修医宿泊室6室
	野 球 場		自動車車庫	
	テニスコート	12面（人工芝6面、全天候6面）	グライダー格納庫	
	バレーボールコート	4面（全天候）		
	ハンドボールコート	2面（クレー1面、全天候1面）		
	バスケットボールコート	3面（全天候）		
	サッカー場	1面	きゅう舎・馬場	
	ラグビー場	1面		
	水泳プール	1基（50 m 8 コース）	アーチェリー場	

学生サークル活動

課外活動団体一覧

全学行事団体（6 団体）
岐阜大学祭全学執行委員会
岐阜大学全学春祭実行委員会
学生企業展実行委員会
岐阜大学サークル協議会
岐大発！熟議推進委員会
イルミネーション実行委員会

文化系サークル（32 団体）
写真研究会
美術部
茶道部
ユースホステルクラブ
邦楽部
コーラスクラブ
漫画研究会
フォーク村
ギター・マンドリンクラブ
E.S.S
ユネスコ学生クラブ
生物科学研究会
岐阜学生放送研究会ラジスタ
ツキノワグマ研究会
将棋部
軽音楽部
管弦楽団
演劇研究会
学生生活を考える会
囲碁部
緑化研究会（Three trees）
ロボコンサークル
落語研究会
児童文化人形劇研究会コロッポ
文芸サークル童話会
星を観る会
RYUGAKU LOVE
アコースティックギターサークル「央」
吹奏楽団
ドリームボックス
グルメ研究会
動物園学生くらぶ

上記の他に、同好会（38 団体）がある。

体育系サークル（35 団体）
陸上競技部
硬式野球部
準硬式野球部
硬式庭球部
バスケットボール部
ハンドボール部
ラグビー部
剣道部
空手道部
アーチェリー部
ハイキング部
ラクロス部
アメリカンフットボール部
ソフトボールサークル
テコンドー部
バレーボール部
バドミントン部
体操部
サッカー部
弓道部
ワンダーフォーゲル部
チアリーダー部
フォーミュラ JSAE プロジェクト
水泳部
卓球部
柔道部
少林寺拳法部
馬術部
サイクリング部
ダンス部
自動車部
ソフトテニス部
航空部
カヌー部
山岳部

医学部学生団体（運動部）（22 団体）
卓球
男子バレーボール
バスケットボール
剣道
弓道
硬式テニス
ソフトテニス
準硬式野球
スキー
バドミントン
山岳
水泳
陸上
ラグビー
ハンドボール
ゴルフ
サッカー
空手道
ボーリング部
スキューバダイビング部
ダーツ部
AAC（テニス）（Anti-aging club）

医学部学生団体（文化部）（14 団体）
セツルメント（地域医療）
リーベ・バルツェ（軽音）
熱帯医療研究会
カスタニユエラ（バンド）
室内合奏団
ピアノ
ぎりんの会（臨床技能）
奥穂高診療クラブ
医療系学生のつどい「さるぼぼ」
箏曲部
美術部
料理部
W・O・M（vip car 同好会）
ぎふ医療ケアサークル

平成 24 年 5 月 1 日現在

研究 Research | 究める岐阜大学

プロジェクト研究センター

金型創成技術研究センター（平成 18 年 7 月設置）

本センターは、文部科学省の平成 18 年度科学技術振興調整費の採択を受け設置したもので、地域と連携し、次世代の金型産業を担う高度職業人の養成を目的としている。本学教員のほか、企業技術者を講師として招き、金型技術の高度化・伝承を継続的かつ着実に実行するとともに、地域産業振興に貢献する“創造的かつ意欲のある若手技術者”の育成のため、学部 4 年生、大学院生に対してものづくりプロセスの一気通貫教育、金型経験者、求職者に対して金型専門教育を行っている。企業との共同研究を積極的に展開している。

【研究部門】（人数）
金型材料・加工技術研究室(7)、固相創形技術研究室(鑄造、プレス)(8)、液相創形技術研究室(鑄造、射出成形)(6)、金型要素技術研究室(7) 計 28 人

未来型太陽光発電システム研究センター（平成 18 年 12 月設置）

本センターは、太陽光発電システム未来技術の研究開発を目的に設置した。高効率・大面積・長寿命・高信頼性・低コストを実現させるための太陽電池開発研究を行うとともに、発電施設として実用化するためのシステム開発を行っている。
本センターにおける研究は、国の太陽光発電に関する研究プロジェクトおよび産業界との共同研究により研究費がまかなわれており、今後必要となるハイブリットエネルギーシステムおよびスマートグリッドに関する研究を含めて、環境に優しいエネルギーシステムの創出を目指している。

【研究部門】（人数）
薄膜シリコン系太陽電池研究開発部門(11)、発電量評価技術研究開発部門(5)、色素増感太陽電池研究開発部門(8)、太陽電池モジュール評価技術研究開発部門(2)、ハイブリッドエネルギーシステム研究開発部門(4) 計 30 人

社会資本アセットマネジメント技術研究センター（平成 20 年 7 月設置）

本センターは、社会基盤施設の効率的な維持管理を提案・実施するための技術の確立と、シンポジウム開催等によりそれら技術の地域への還元を目的としており、センターで構築した技術は、地域の継続的発展を担うものである。
以下の研究部門において、最新の構造物技術診断、補修技術およびリスクに基づく戦略的整備意思決定システムを開発している。
センターには、文部科学省の平成 20 年度科学技術振興調整費の採択を受けた「社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成ユニット」を開設した。ユニットでは、地域(岐阜県、建設業界)と連携し、少人数制短期集中カリキュラムにより地域に貢献する総合的な技術者(ME)を養成している。

【研究開発部門】（人数）
社会基盤診断技術研究室(10)、社会基盤補修技術研究室(7)、総合リスクマネジメント技術研究室(11) 計 28 人

人間医工学研究開発センター（平成 22 年 4 月設置）

本センターは、活力ある健康長寿社会を推進するため、医工連携による予防医学、先端医療、人間支援ロボティクスに関する次世代技術開発を行う三部門専門集団として活動している。特に、医用画像診断、高度医療・福祉支援技術を実用化することにより、岐阜地域の産業振興と若手技術者育成、および世界的高齢化社会の諸問題解決に貢献することを目指している。
また、本センターの設置は、岐阜大学における医工連携の研究・教育を活性化する重点的役割を果たすものである。

【研究開発部門】（人数）
イメージ&機能解析部門(18)、五感コミュニケーション部門(12)、人間支援ロボティクス部門(13) 計 43 人(医学系 24、工学系 19)

複合材料研究センター（平成 24 年 4 月設置）

本センターは、この地域の産業高度化を目指す「ぎふ技術革新プログラム」を学の立場から推進するために設置され、複合材料をモノづくりに真に活用できる材料、すなわち「適材」とすることにより、複合材料製品の地域企業でのいち早い実用化を支援することを目標としている。
このためセンターでは、各種複合材料の軽量構造部材への適用を主眼に、その生産加工技術を中心として研究開発を行っている。

【研究開発部門】（人数）
無機材料部門(12)、有機材料部門(19)、金属材料部門(7) 計 38 人

21世紀 COE プログラム

年 度	プログラム名	拠 点	分 野
平成 14 ～ 18 年度	野生動物の生態と病態からみた環境評価	大学院連合獣医学研究科	複合領域
平成 16 ～ 20 年度	衛星生態学創生拠点	流域圏科学研究センター	革新的学術分野

科学研究費助成事業

科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金（平成 23 年度実績）

研 究 種 目	件 数	直 接 経 費 （千 円）	間 接 経 費 （千 円）	部局別件数																	
				教育学部	大学院教育学研究科	地域科学部	医学部	大学院医学系研究科	医学部附属病院	工学部	大学院工学研究科	応用生物科学部	大学院連合農学研究科	大学院連合獣医学研究科	大学院連合創薬医療情報研究科	流域圏科学研究センター	産官学融合本部	生命科学総合研究支援センター	総合情報メディアセンター	留学生センター	保健管理センター
特定領域研究	1	2,800	-							1											
新学術領域研究	6	30,788	9,930					2		2		1			1						
基盤研究（S）	1	15,890	467	1																	
基盤研究（A）	3	29,600	8,880									2				1					
基盤研究（B）	48	186,919	57,720	3		1	1	7		9	1	20			1	4			1		
基盤研究（C）	186	175,664	57,930	21	5	9	8	37	15	46		28		1		2		4	6	2	2
挑戦的萌芽研究	24	27,116	9,570	3		1		2	1	5	1	10							1		
若手研究（A）	3	14,000	4,200									2						1			
若手研究（B）	58	55,103	17,730	6		6	1	12	10	10		8				2	1	1			1
研究活動スタート支援	7	7,670	2,301				2	1	2	1		1									
奨励研究	7	3,700	-						5			2									
成果公開促進費 （学術図書）	1	600	-			1															
成果公開促進費 （データベース）	1	1,100	-									1									
特別研究員奨励費	17	11,284	-					2		1		3	3	7	1						
合 計	363	562,237	168,728	34	5	18	12	63	33	75	2	78	3	8	3	9	1	6	8	2	3

千円未満切り捨て

地域連携

地方自治体等との協定締結

本学は、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的に、地方自治体等と包括的連携・協力に関する協定を締結して、多様な分野で連携活動を積極的に進めている。平成 23 年度は新たに郡上市と協定を締結した。

包括連携協定

自治体等	締結日	主な連携活動（平成 23 年度）※
大垣市	H18. 3.31	高校生及び小学生親子を対象とするものづくり体験講座への協力 金型創成技術研究センターの運営協力 墨俣地域景観まちづくり計画推進に関する業務委託
各務原市 各務原商工会議所	H19.10.10	本の街かかみがはら事業への協力
羽島市	H20. 2.26	羽島市民病院への医師派遣・実習生の受け入れ
岐阜県	H20. 3.28	職員交流事業（地域医療医学センター、工学部等） 地方自治政策研究会の開催 岐阜県図書館との相互協力 岐阜県・国立大学法人岐阜大学連携推進会議の開催
関市	H20. 9.16	市民防災講座・講演会への講師派遣 関市地域防災計画改訂に関する業務委託
美濃市	H20.12.17	生涯学習事業における連携 岐阜大学ブランド野菜「仙寿菜」の生産販売等に関する連携
岐阜市	H21. 2.27	岐阜大学地域イノベーター育成研修事業による市職員の受け入れ 岐阜市・岐阜大学若手職員意見交換会 岐阜地域産学官連携交流会への協力 ソーシャル・キャピタルにおける共同研究
高山市	H21. 4.17	岐阜大学地域イノベーター育成研修事業による市職員の受け入れ 「The 学」（本学教員による出前講義）の開催 「岐阜大学フェア in 飛騨高山」の開催
御嵩町	H21.10.28	低炭素のまちづくりへの協力
郡上市	H24. 3.19	岐阜大学地域イノベーター育成研修事業による市職員の受け入れ

※ここに挙げる活動の他、各種審議会、委員会等の委員への就任及び各種研修講師として本学教員が多数協力している。

その他の連携協定

自治体等	締結日	主な協定内容
岐阜市	H18. 3.28	岐阜薬科大学との連携
大学共同利用機関法人 自然科学研究機構核融合科学研究所	H20. 3.25	研究及び人材養成
岐阜市	H20.10. 9	災害時における施設開放
多治見市	H22. 2. 4	産官学連携
岐阜県	H23.11.24	災害時等の大学等高等教育機関による支援協力
国土交通省中部地方整備局	H24. 5.29	地域における防災機能の向上等にかかる連携

地域連携事業の推進

本学は、地域社会の活性化に資することを目的に、平成 19 年度から政策経費「岐阜大学活性化経費（地域連携）」を設け、地域連携事業を推進している。平成 20 年度には、より地域の視点に立った実践的な活動を展開するため、（地域連携：NPO）を、平成 21 年度からは、大学の構成員である学生の力を地域連携活動に活かすため、（地域連携：学生）を増設した。

- 岐阜大学活性化経費（地域連携：一般） 平成 24 年度：8 事業
- 岐阜大学活性化経費（地域連携：NPO） 平成 24 年度：2 事業
- 岐阜大学活性化経費（地域連携：学生） 平成 24 年度：4 事業

公開講座・シンポジウム

公開講座

本学は、教育研究の成果を広く社会に開放し、地域社会の教育文化の向上に資することを目的に、各学部及びセンターが様々な内容の公開講座を実施している。また、小・中・高校生を対象とした講座では、公開講座のほかに、ものづくり講座などの体験講座を開催している。平成24年度の開講数（5月現在決定分）は次のとおりである。

○一般社会人向けの生涯学習講座	10 講座
○専門職・指導者向けの専門講座	2 講座
○小・中・高校生を対象とした公開講座／体験講座	14 講座

岐阜シンポジウム

本学は、地域の知の拠点として、地球規模あるいは社会全体が抱える課題である環境、バイオ、情報、教育などの21世紀の重要テーマについて、岐阜大学の研究成果とともに最新の情報を社会に発信するため、平成13年度から「岐阜シンポジウム」を年2回程度開催している。

○平成22年度	第18回「人間を支援する医学と工学 ―活力ある健康長寿社会をサポートする医工連携の最先端―」 第19回「【緊急】口蹄疫を理解する」 第20回「岐阜から生物多様性を考える」 第21回「岐阜大学発 男女共同参画社会の実現をめざして―企業の成功例に学ぶ―」
○平成23年度	第22回「“超”広域地震災害にそなえて ―いま ぎふ ができること ―」 第23回「宇宙の歴史を読み解く」

高大連携

本学は、高校生が様々な研究分野への理解を深め、学問への動機づけや学習意欲の喚起を目的とした事業を実施している。平成23年は出前授業、講演会、化学・科学講座、SSH、公開講座の5形態で165講座を開講した。また、高大連携に関する高等学校との懇談会を年間で14回開催している。

〔平成23年度実績〕	
○高等学校を対象とした出前授業	133 講座
○高等学校における講演会	11 講座
○高校生のための化学・科学講座	5 講座
○SSHスーパーサイエンスハイスクールの学習支援	9 講座
○高校生を対象とした公開講座	7 講座

なお、出前授業の平成24年度の開設数は、人文科学22、社会科学19、理学29、応用科学113、医学・福祉27、総合9、計219講座である。

市民大学講座

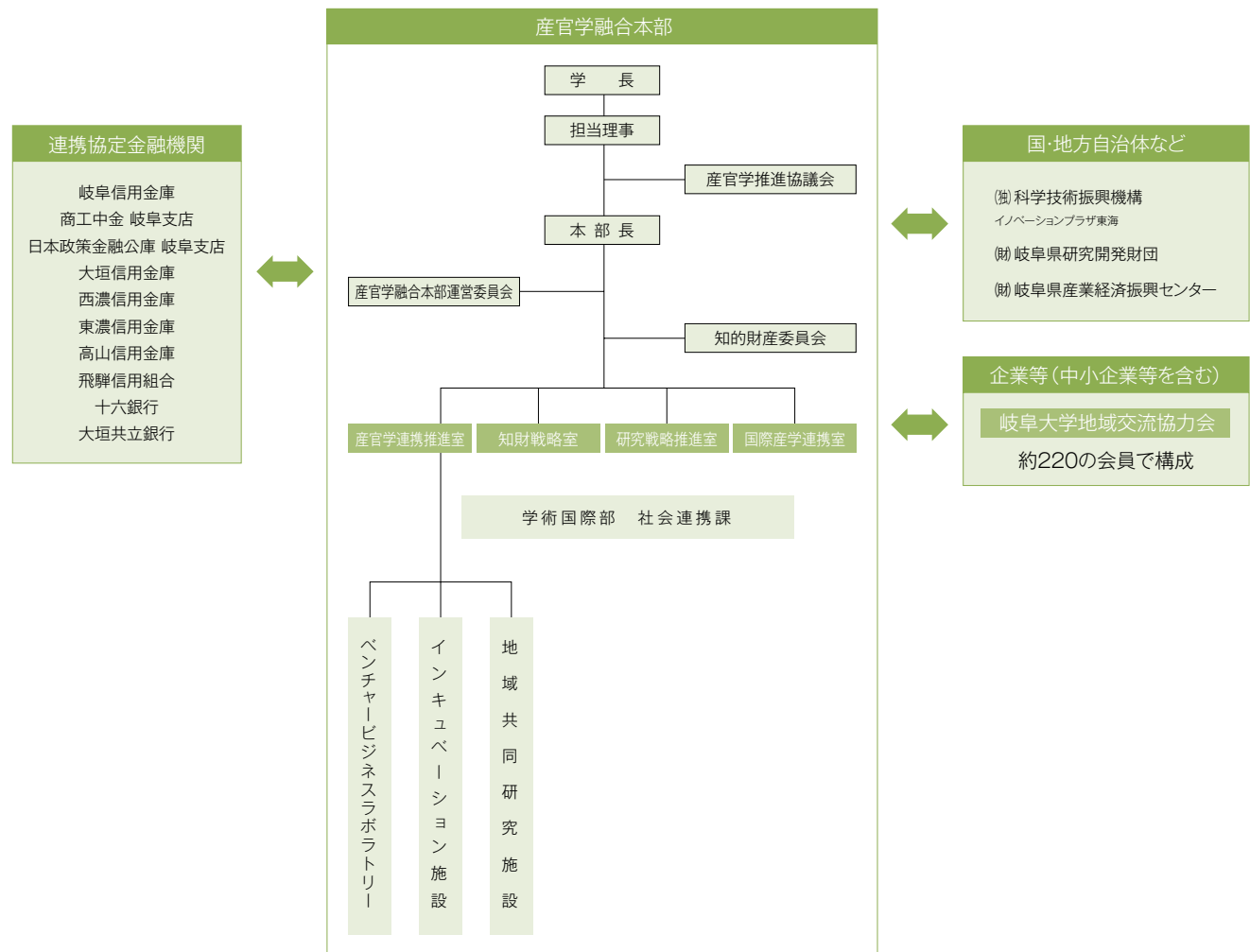
岐阜大学シティカレッジプログラム

本学は、「ぎふ中日文化センター」において、提携講座「岐阜大学シティカレッジプログラム」を開催している。この講座は、本学と中日新聞社が共同で行う「市民大学講座」で、本学の教員が社会や暮らしに密着したテーマを取り上げ、楽しく分かりやすく講義している。

〔平成23年度受講生募集講座〕	
○健康食品の功罪について ― 医療現場に与える影響 ―	（医学部附属病院 竹村 正男 臨床検査技師）
○動物と安心して暮らすために ― 動物から人に感染する病気 ―	（応用生物科学部 杉山 誠 教授）
○モンテスキューに学ぶ 法の精神とは何か	（地域科学部 近藤 真 教授）
○消費者のハートをつかめ！	（工学部 高木 朗義 教授）
○髪の毛1本で“自分”がわかる!? ― DNAと個人識別 ―	（医学系研究科・医学部 永井 淳 助教）
○ふしぎ大陸南極 ― 白瀬南極探検隊から百年 ―	（総合情報メディアセンター 田阪 茂樹 教授）

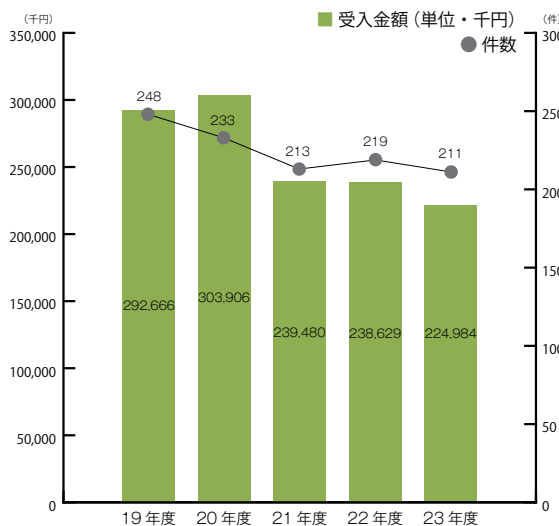
産官学連携

産官学融合本部体制図

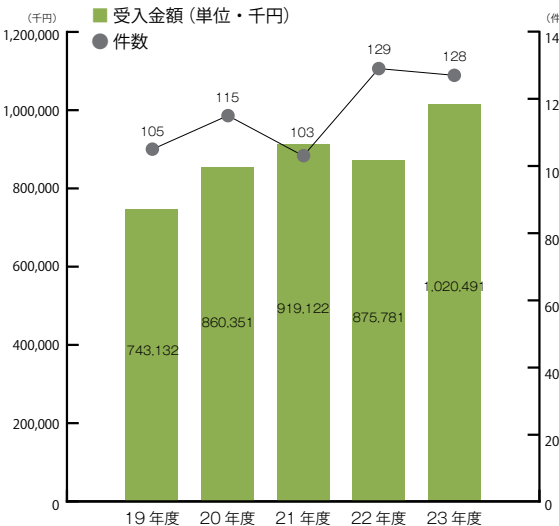


共同研究・受託研究

共同研究



受託研究



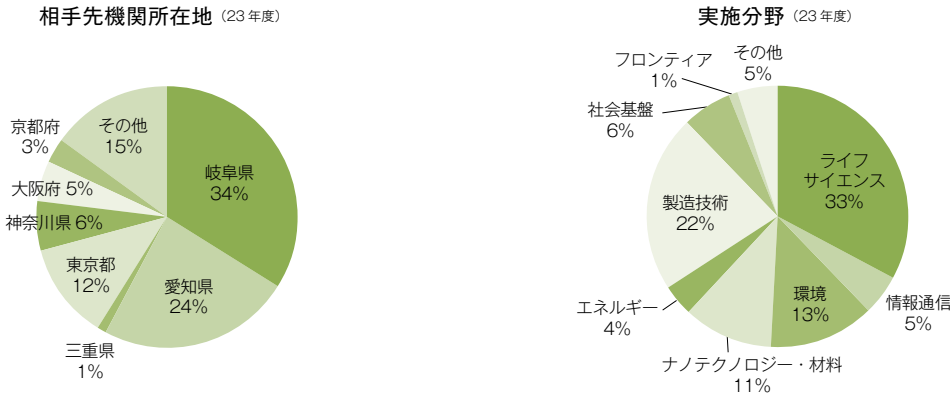
共同研究・受託研究部局別受入実績

部 局	共同研究		受託研究	
	受入件数	受入金額	受入件数	受入金額
教育学部	4	3,490	1	950
地域科学部	3	5,156	1	2,100
医学系研究科・医学部	16	26,043	19	119,829
医学部附属病院	7	1,880	18	190,660
工学部	106	115,849	48	479,842
応用生物科学部	52	54,499	23	116,301
連合農学研究科	0	0	0	1,000
連合獣医学研究科	3	517	0	0
連合創薬医療情報研究科	2	440	3	16,473
産官学融合本部	1	500	1	43,198
流域圏科学研究センター	10	10,759	6	40,047
生命科学総合研究支援センター	1	275	4	6,604
総合情報メディアセンター	6	5,576	1	1,000
金型創成技術研究センター	0	0	3	2,487
合 計	211	224,984	128	1,020,491

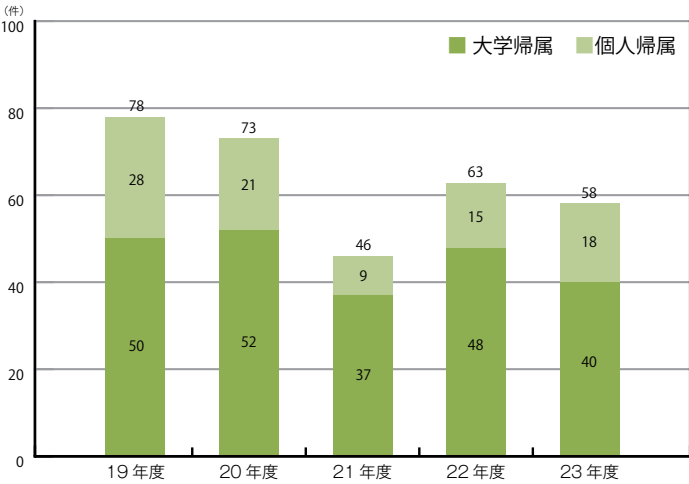
平成 23 年度（金額単位：千円）

複数部局での合同契約については、受入金額の多い部局で 1 件として計上されるため、0 件になる場合がある。

共同研究実績

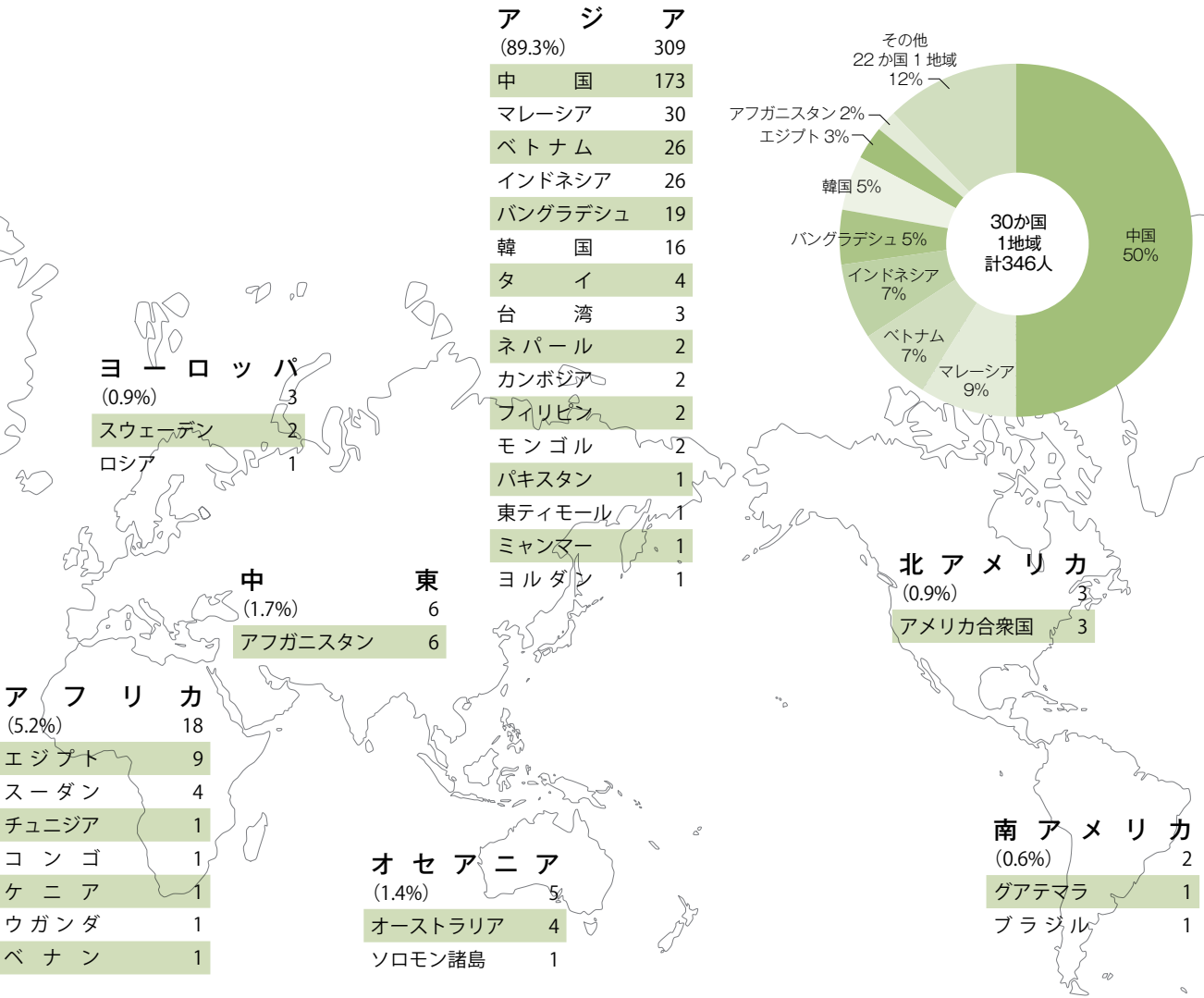


発明届

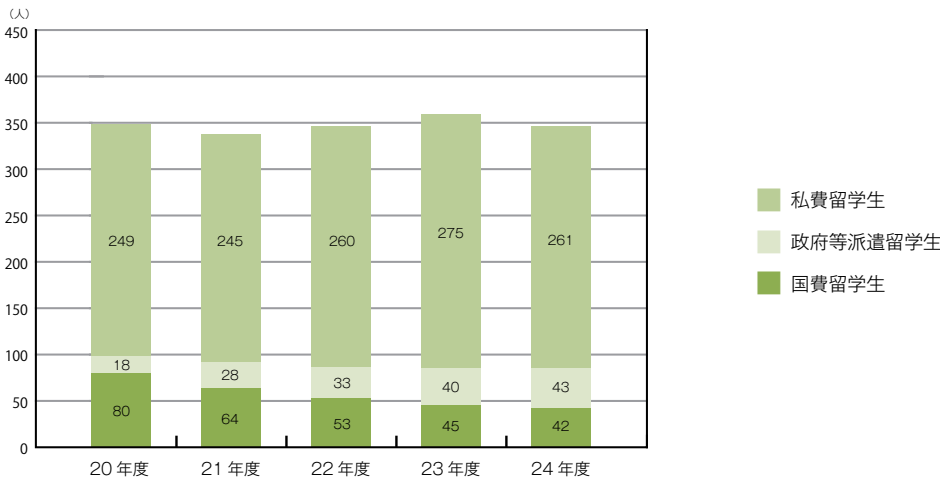


国際交流

国(地域)別外国人留学生数（平成 24 年 5 月 1 日現在）（人）



外国人留学生受け入れ数の推移



学術交流協定締結大学一覧

大学間協定 (15 カ国 42 大学)

大 学 名	国 名	協定締結日
カンピーナス大学	ブラジル	1984. 8.27
サンディエゴ州立大学	米 国	1985. 5. 7
浙江大学	中 国	1986. 4.21
広西大学	中 国	1986. 4.24
電子科技大学	中 国	1986. 7.21
江南大学	中 国	1986. 9. 3
中国医科大学	中 国	1987. 8.15
ルンド大学	スウェーデン	1987. 9.12
ノーザンケンタッキー大学	米 国	1990. 9.26
ソウル科学技術大学	韓 国	1992. 3.19
グリフィス大学	オーストラリア	1995. 3. 3
ユタ大学	米 国	1997. 5.28
ユタ州立大学	米 国	1997. 5.29
ハノイ工科大学	ベトナム	1998. 6.26
ウェストバージニア大学	米 国	1998.12.16
カセサート大学	タ イ	1999. 8. 5
内蒙古農業大学	中 国	2000. 8. 8
シドニー工科大学	オーストラリア	2000. 8.14
バンノン大学	ハンガリー	2001. 3. 2
アンダラス大学	インドネシア	2001. 4.23
バングラデシュ農業大学	バングラデシュ	2001. 8.23

平成 24 年 5 月 1 日現在

大 学 名	国 名	協定締結日
エルフルト大学	ド イ ツ	2002.12. 4
吉林大学	中 国	2003. 5.20
チェンマイ大学	タ イ	2003. 8. 4
ダッカ大学	バングラデシュ	2004. 6.17
モンクット王トンブリ工科大学	タ イ	2005. 1.10
華僑大学	中 国	2005. 3.29
同済大学	中 国	2006. 3.16
ランボン大学	インドネシア	2006. 4.25
ポートランド州立大学	米 国	2006. 6.19
内蒙古大学	中 国	2007. 2. 6
木浦大学	韓 国	2008. 2.26
シバジ大学	イ ン ド	2008. 3.18
パイロイト大学	ド イ ツ	2008. 8.22
西南交通大学	中 国	2008. 9. 5
ベンハー大学	エジプト	2009. 3.18
高麗大学	韓 国	2010. 1.15
カウナス工科大学	リトアニア	2010. 3. 8
コロラド州立大学	米 国	2010. 8.13
ボゴール農業大学	インドネシア	2010.12. 2
内蒙古師範大学	中 国	2011. 6. 8
ヴィータウタス・マグヌス大学	リトアニア	2012. 1.19

部局間協定

大 学 名	国 名	協定締結日	協定部局
チュラロンコン大学理学部	タ イ	1994. 3.15	応用生物科学部
コンケン大学農学部	タ イ	2000. 3.27	応用生物科学部
コンケン大学学部間共同開発研究所	タ イ	2000. 3.27	応用生物科学部
浙江大学医学院	中 国	2000.12. 4	医 学 部
コンケン大学医学部	タ イ	2000.12.18	医 学 部
国立全南大学校工科大学	韓 国	2002. 2. 6	工 学 部
シドニー大学文学部	オーストラリア	2004. 3. 2	教 育 学 部
中国科学院水利部水土保持研究所	中 国	2008. 8.12	社会資本アセットマネジメント技術研究センター
国立獣医科学検疫院 獣医科学研究所	韓 国	2008.11. 4	応用生物科学部
ガジャマダ大学 畜産学部	インドネシア	2008.12. 5	応用生物科学部
忠北大学医学部	韓 国	2009. 4.17	医 学 部
中国水利水電科学研究院岩土工程研究所	中 国	2009. 7.24	社会資本アセットマネジメント技術研究センター
カフル・エル・シェイク大学 獣医学部	エジプト	2009.11.15	連合創薬医療情報研究科
柳韓大学 工学系列	韓 国	2010. 9.29	工 学 部
アルバータ大学 理学部	カ ナ ダ	2011. 6.30	応用生物科学部
ベングル大学 数学自然科学部	インドネシア	2011. 7.20	工 学 部
スプラス・マレット大学 農学部	インドネシア	2012. 3.28	応用生物科学部
スプラス・マレット大学 大学院	インドネシア	2012. 3.30	連合農学研究科

外国人研究者受入数及び来訪者数

平成 23 年度

外国人研究者	34 人
外国人来訪者	62 人

海外渡航者数

平成 23 年度

出 張	501 人
研 修	18 人

*非常勤職員を除く

交換留学

(人)

国 名	大 学 名	派遣年度			受入年度		
		21	22	23	21	22	23
バングラデシュ	ダッカ大学						1
	広西大学				2	2	2
	電子科技大学				2	2	2
	内蒙古農業大学						
	吉林大学				1	1	2
	華僑大学				2	3	2
中 国	同済大学				1	1	2
	内蒙古大学				1	1	
	江南大学					2	
	ソウル科学技術大学	1	2		3	3	2
	木浦大学	1			2		2
	高麗大学		2				1
タ イ	カセサート大学					1	
	アンダラス大学						1
	チェンマイ大学				2	1	1
	モンクット王トンブリ工科大学				3	2	
オーストラリア	グリフィス大学				1		3
	シドニー工科大学	1			2	2	2
スウェーデン	ルンド大学	1	1	1	2	2	2
ド イ ツ	エルフルト大学		2	1			
米 国	サンディエゴ州立大学		1		3		1
	ノーザンケンタッキー大学	1	1			2	1
	ユタ大学						
	ユタ州立大学				1	1	
	ウエストバージニア大学	2		3		2	2
合 計		7	9	5	28	28	29

夏期短期留学（サマースクール）

(人)

国名	大学名	派遣年度			受入年度		
		21	22	23	21	22	23
韓国	ソウル科学技術大学	7	5	6	2	3	
	木浦大学	2			3	3	3
オーストラリア	グリフィス大学	8	17	16			
スウェーデン	ルンド大学				17	17	17
米国	ユタ州立大学						
合計		17	22	22	22	23	20

国際交流会館

施設名	施設の概要		
	宿泊室		その他
国際交流会館 (岐阜市柳戸1番1)	A棟	単身室 31	会議室・研修室、談話室
		夫婦室 2	
		家族室 3	
	B棟	単身室 38	多目的ホール、和室
		夫婦室 12	
		家族室 4	
	C棟	単身室 11	
		夫婦室 2	
		家族室 4	

海外オフィス

本学では、外国人学生・研究者との交流の促進を目的として、海外オフィスを設置している。

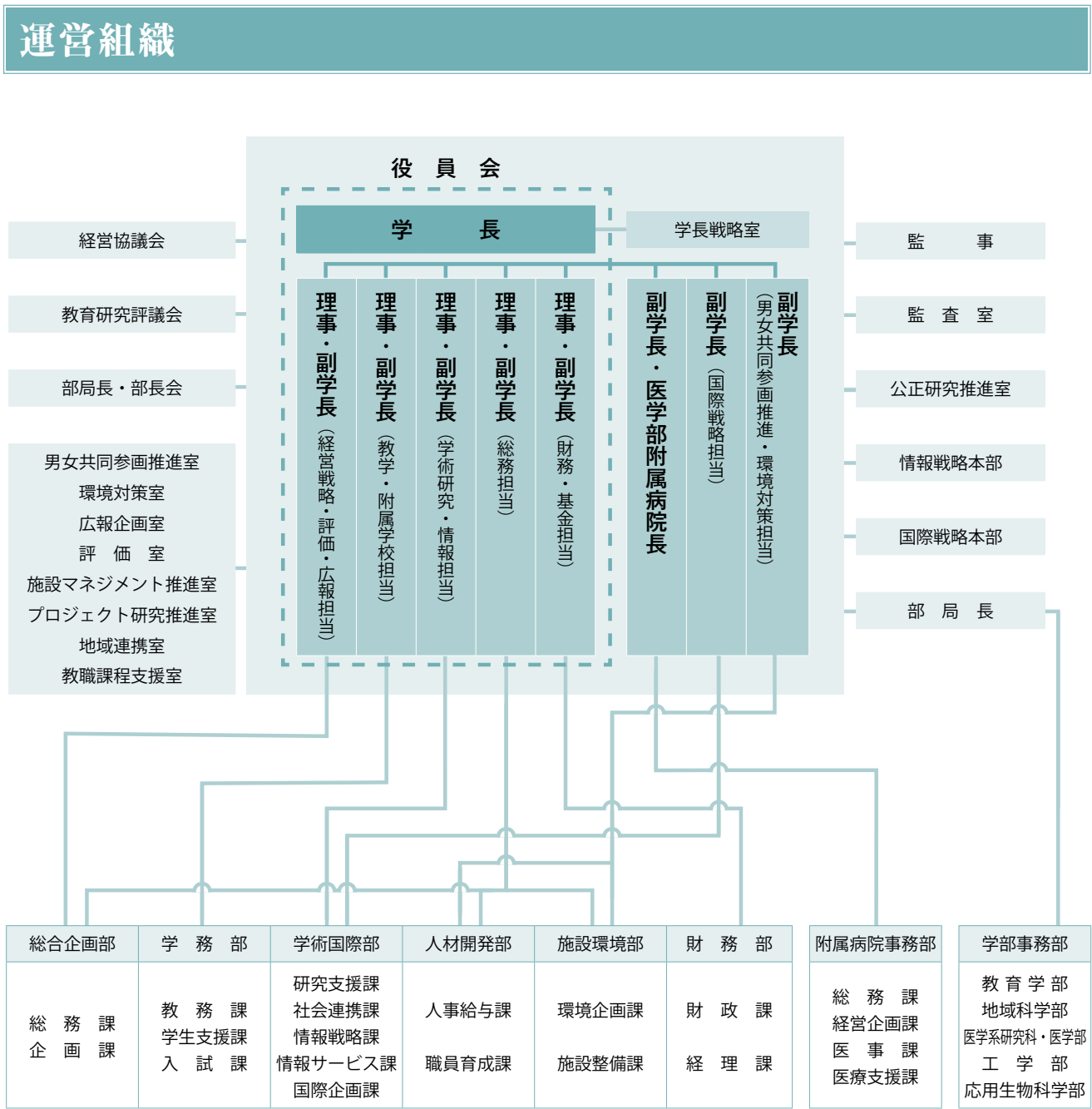
岐阜大学上海オフィス

中華人民共和国上海市御青路 1043 号
電話：86-21-58124777
FAX：86-21-58124778

岐阜大学ダッカオフィス

47, Latif Tower (9th floor) Kawran Bazar,
Tejgaon Dhaka Bangladesh

組織 Organization



役員等一覧

役 員 等	
学 長	森 秀 樹
理 事・副学長(経営戦略・評価・広報担当)	八 嶋 厚
理 事・副学長(教学・附属学校担当)	岡 野 幸 雄
理 事・副学長(学術研究・情報担当)	小 見 山 章
理 事・副学長(総務担当)	吉 村 泰 治
理 事・副学長(財務・基金担当)	杉 戸 真 太
監 事	吉 田 隆 春
監 事(非常勤)	山 田 英 脩
副学長・医学部附属病院長	岩 間 亨
副学長(国際戦略担当)	廣 田 則 夫
副学長(男女共同参画推進・環境対策担当)	林 正 子
経営協議会委員	
学 長	森 秀 樹
理 事・副学長(経営戦略・評価・広報担当)	八 嶋 厚
理 事・副学長(教学・附属学校担当)	岡 野 幸 雄
理 事・副学長(学術研究・情報担当)	小 見 山 章
理 事・副学長(総務担当)	吉 村 泰 治
理 事・副学長(財務・基金担当)	杉 戸 真 太
副学長・医学部附属病院長	岩 間 亨
副学長(国際戦略担当)	廣 田 則 夫
副学長(男女共同参画推進・環境対策担当)	林 正 子
(株)ＴＹＫ代表取締役 会長	牛 込 進
帝京大学経済学部 教授	大 熊 義 之
(株)岡本 代表取締役会長	岡本太右衛門
岐阜薬科大学長	勝 野 眞 吾
学校法人神谷学園 理事長	神 谷 眞 弓 子
(株)中日新聞社 代表取締役社長	小 出 宣 昭
(独)国立科学博物館 顧問	佐 々 木 正 峰
岐阜県副知事	淵 上 俊 則
岐阜市長	細 江 茂 光

教育研究評議会委員	
学 長	森 秀 樹
理 事・副学長(経営戦略・評価・広報担当)	八 嶋 厚
理 事・副学長(教学・附属学校担当)	岡 野 幸 雄
理 事・副学長(学術研究・情報担当)	小 見 山 章
理 事・副学長(総務担当)	吉 村 泰 治
理 事・副学長(財務・基金担当)	杉 戸 真 太
副学長・医学部附属病院長	岩 間 亨
副学長(国際戦略担当)	廣 田 則 夫
副学長(男女共同参画推進・環境対策担当)	林 正 子
教育学部長	早 川 万 年
地域科学部長	竹 内 章 郎
医学系研究科長	清 島 満
工学部長	六 郷 恵 哲
応用生物科学部長	金 丸 義 敬
連合農学研究科長	鈴木 文 昭
連合獣医学研究科長	深 田 恒 夫
連合創薬医療情報研究科長	紀ノ定保臣
産官学融合本部長	高見澤一 裕
教養教育推進センター長	福 士 秀 人
流域圏科学研究センター長	景 山 幸 二
生命科学総合研究支援センター長	下 澤 伸 行
総合情報メディアセンター長	内 田 裕 市
留学生センター長	守 富 寛
教育学部教授	池 谷 尚 剛
地域科学部教授	口 蔵 幸 雄
医学系研究科教授	湊 口 信 也
工学部教授	野々村修一
応用生物科学部教授	福 井 博 一

学部長・センター長等		
教育学部	学部長	早 川 万 年
	副学部長	原 田 憲 一
	副学部長	池 谷 尚 剛
	副学部長	江 馬 諭
	附属特別支援教育センター長	平 澤 紀 子
	附属小学校長	伊 東 英
	附属小学校副校長	熊 崎 盛 敏
	附属中学校長	伊 東 英
	附属中学校副校長	河 合 鋭 夫
地域科学部	学部長	竹 内 章 郎
	副学部長	口 蔵 幸 雄
	副学部長	宮 野 雄 一
医学系研究科・医 学 部	研究科長(学部長)	清 島 満
	副研究科長(副学部長)	湊 口 信 也
	副研究科長(副学部長)	原 明
	副学部長	江 村 正 一
	地域医療医学センター長	清 島 満
医学部附属病院	病院長	岩 間 亨
	副病院長	吉 田 和 弘
	副病院長	村 上 啓 雄
	副病院長(看護部長)	五 島 光 子
	薬剤部長	伊 藤 善 規
	看護部長	五 島 光 子
工 学 部	学部長	六 郷 恵 哲
	副学部長	野々村修一
	副学部長	大 矢 豊
	副学部長	速 水 悟
	ものづくり技術教育支援センター長	植 松 美 彦

応用生物科学部	学部長	金 丸 義 敬
	副学部長	福 井 博 一
	副学部長	山 内 亮
	副学部長	杉 山 誠
	附属岐阜フィールド科学教育研究センター長	田 中 逸 夫
	附属動物病院長	山 添 和 明
	附属野生動物管理学研究センター長	鈴木 正 嗣
	附属比較がんセンター長	丸 尾 幸 嗣
連合農学研究科	研究科長	鈴木 文 昭
連合獣医学研究科	研究科長	深 田 恒 夫
連合創薬医療情報研究科	研究科長	紀ノ定保臣
図 書 館	図書館長(兼)	小 見 山 章
	医学図書館長	山 本 哲 也
産官学融合本部	本部長	高見澤一 裕
情報戦略本部	本部長(兼)	小 見 山 章
国際戦略本部	本部長(兼)	廣 田 則 夫
教養教育推進センター	センター長	福 士 秀 人
流域圏科学研究センター	センター長	景 山 幸 二
生命科学総合研究支援センター	センター長	下 澤 伸 行
総合情報メディアセンター	センター長	内 田 裕 市
留学生センター	センター長	守 富 寛
保健管理センター	センター長	山 本 眞 由 美
キャリアセンター	センター長	佐 々 木 実
イノベーション創出若手人材養成センター	センター長(兼)	岡 野 幸 雄
金型創成技術研究センター	センター長	王 志 剛
未来型太陽光発電システム研究センター	センター長	野々村修一
社会資本アセットマネジメント技術研究センター	センター長	高 木 朗 義
人間医工学研究開発センター	センター長	横 田 康 成
複合材料研究センター	センター長	三 宅 卓 志
医学教育開発研究センター	センター長	鈴木 康 之

組 織

組 織

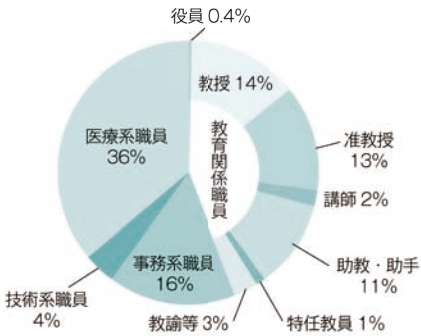
役員・職員数

平成 24 年 5 月 1 日現在

区 分	役 員	教育系職員								事務系職員	技術系職員	医療系職員	合 計
		教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	特任教員	附属学校 教員	小 計				
学長	1												1
理事	5												5
監事	1												1
大学本部										152 (48)	29 (3)		181 (51)
教育学部		42 (8)	37 (6)		2		1		82 (14)	17 (7)	1 (1)		100 (22)
大学院教育学研究科		5 (1)	6				3		14 (1)				14 (1)
附属小学校								29 (11)	29 (11)				29 (11)
附属中学校								26 (5)	26 (5)				26 (5)
地域科学部		23 (2)	19 (5)	2	4				48 (7)	8 (3)	1		57 (10)
医学部		12 (7)	11 (9)		17 (16)	1 (1)			41 (33)	27 (10)	6 (2)		74 (45)
大学院医学系研究科		41 (2)	30	10 (1)	40 (9)				121 (12)				121 (12)
医学部医学教育開発研究センター		3			2 (1)				5 (1)				5 (1)
医学部附属病院			11	29 (3)	73 (13)				113 (16)	66 (24)	9 (3)	688 (566)	876 (609)
工学部・工学研究科		68 (3)	64 (4)		42 (1)		4		178 (8)	25 (10)	11 (1)		214 (19)
応用生物科学部		50	41 (2)		14 (5)				105 (7)	19 (7)	14 (3)		138 (17)
大学院連合農学研究科		1							1				1
大学院連合獣医学研究科		1							1				1
大学院連合創薬医療情報研究科		2							2				2
産官学融合本部		1	1				1		3				3
教養教育推進センター			1				2 (1)		3 (1)				3 (1)
流域圏科学研究センター		6	6 (2)		3				15 (2)				15 (2)
生命科学総合研究支援センター		2	4 (1)		5				11 (1)				11 (1)
総合情報メディアセンター		7	5 (1)		1 (1)				13 (2)				13 (2)
留学生センター		2 (1)	3 (2)						5 (3)				5 (3)
保健管理センター		1 (1)	1 (1)		3 (1)				5 (3)			3 (3)	8 (6)
イノベーション若手人材養成センター							1 (1)		1 (1)				1 (1)
金型創成技術研究センター		1	1		1				3				3
複合材料研究センター							4 (1)		4 (1)				4 (1)
男女共同参画推進室							3 (2)		3 (2)				3 (2)
教職課程支援室							3 (1)		3 (1)				3 (1)
合 計	7	268 (25)	241 (33)	41 (4)	207 (47)	1 (1)	22 (6)	55 (16)	835 (132)	314 (109)	71 (13)	691 (569)	1918 (823)

() 内は女性の人数を内数で示す。青字は非常勤役員を外数で示す。

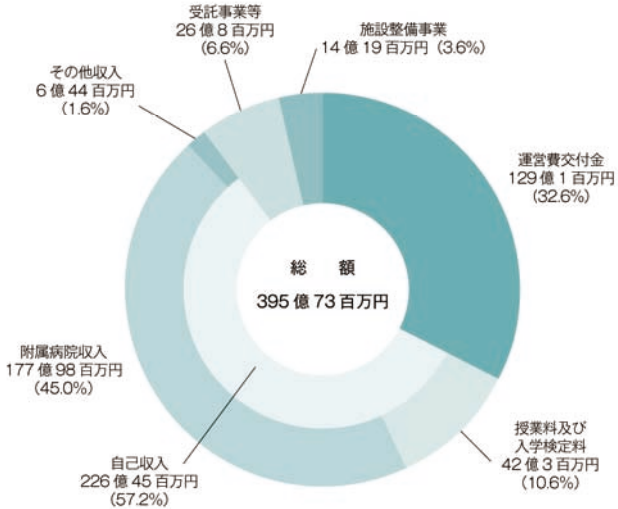
役員・職員の構成比率



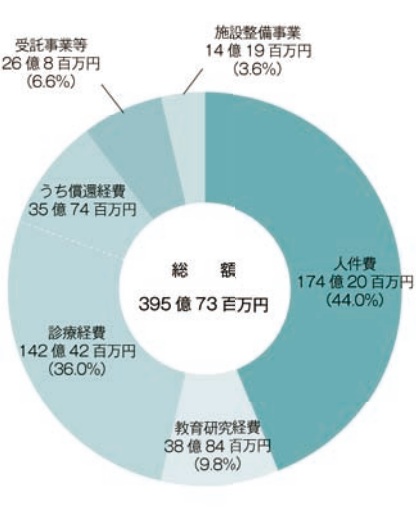
予 算

平成 24 年度岐阜大学の予算

【収 入】



【支 出】



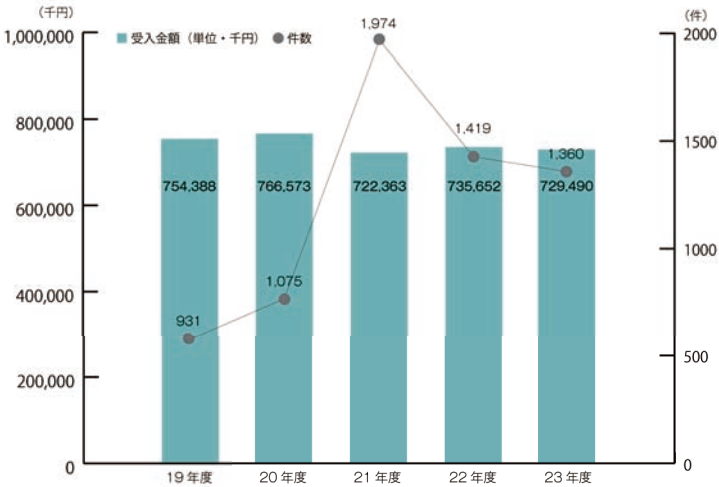
寄附金

奨学寄附金（平成 23 年度実績）

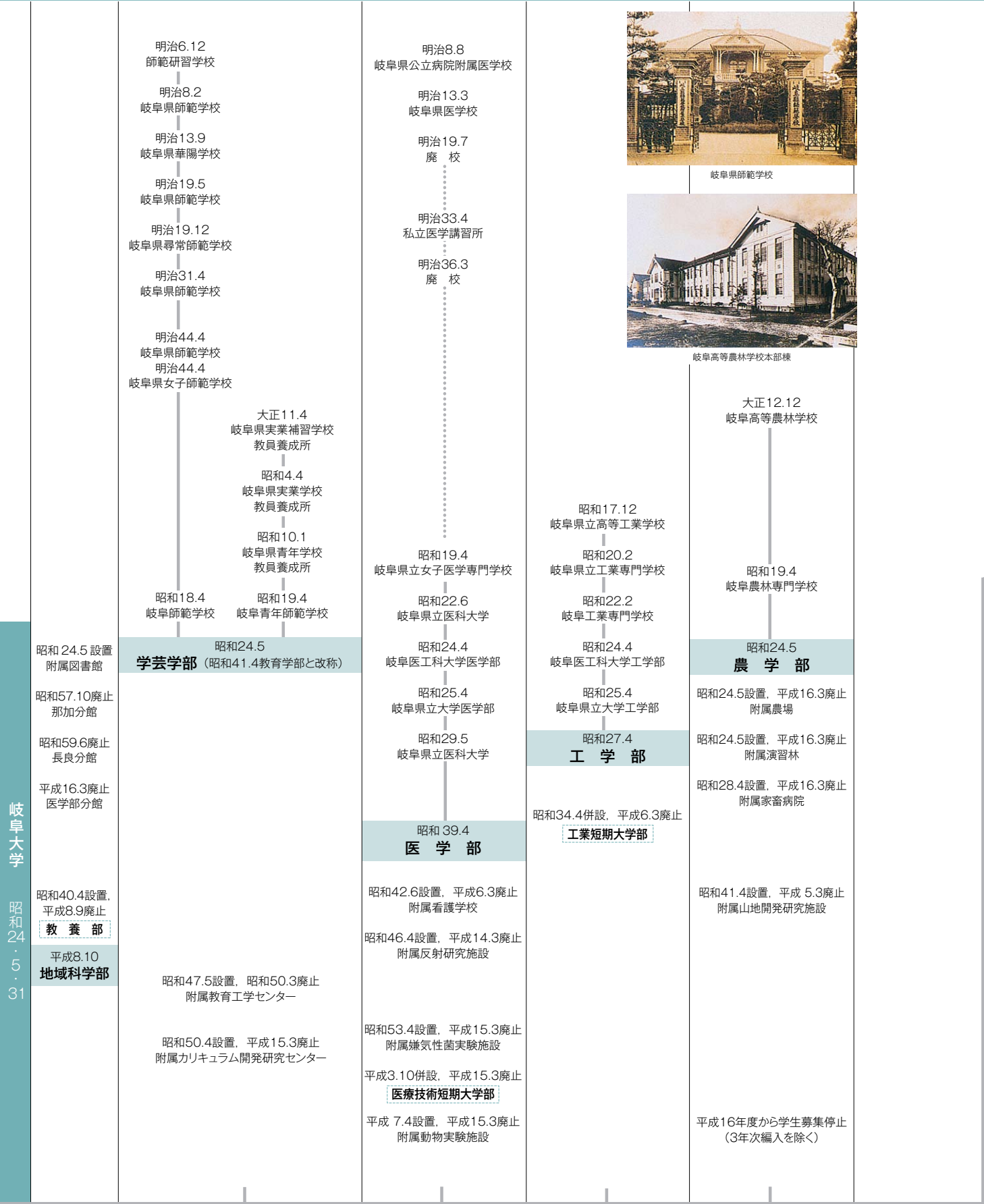
（単位：千円）

区 分	件 数	金 額
本部（国際交流含む）	16	2,990
岐阜大学基金	426	23,987
教育学部	18	13,700
附属小学校	3	13,250
附属中学校	1	7,650
地域科学部	2	1,100
医学系研究科・医学部	396	372,059
医学部附属病院	169	119,560
工学部	116	101,547
応用生物科学部	173	49,693
連合農学研究科	3	2,500
連合獣医学研究科	2	700
連合創薬医療情報研究科	3	4,500
産官学融合本部	1	500
流域圏科学研究センター	16	9,111
生命科学総合研究支援センター	10	5,439
総合情報メディアセンター	5	1,200
合 計	1,360	729,490

千円未満は切り捨てとし、医学部には寄附講座分 58,000 千円、工学部には寄附講座分 17,000 千円を含む



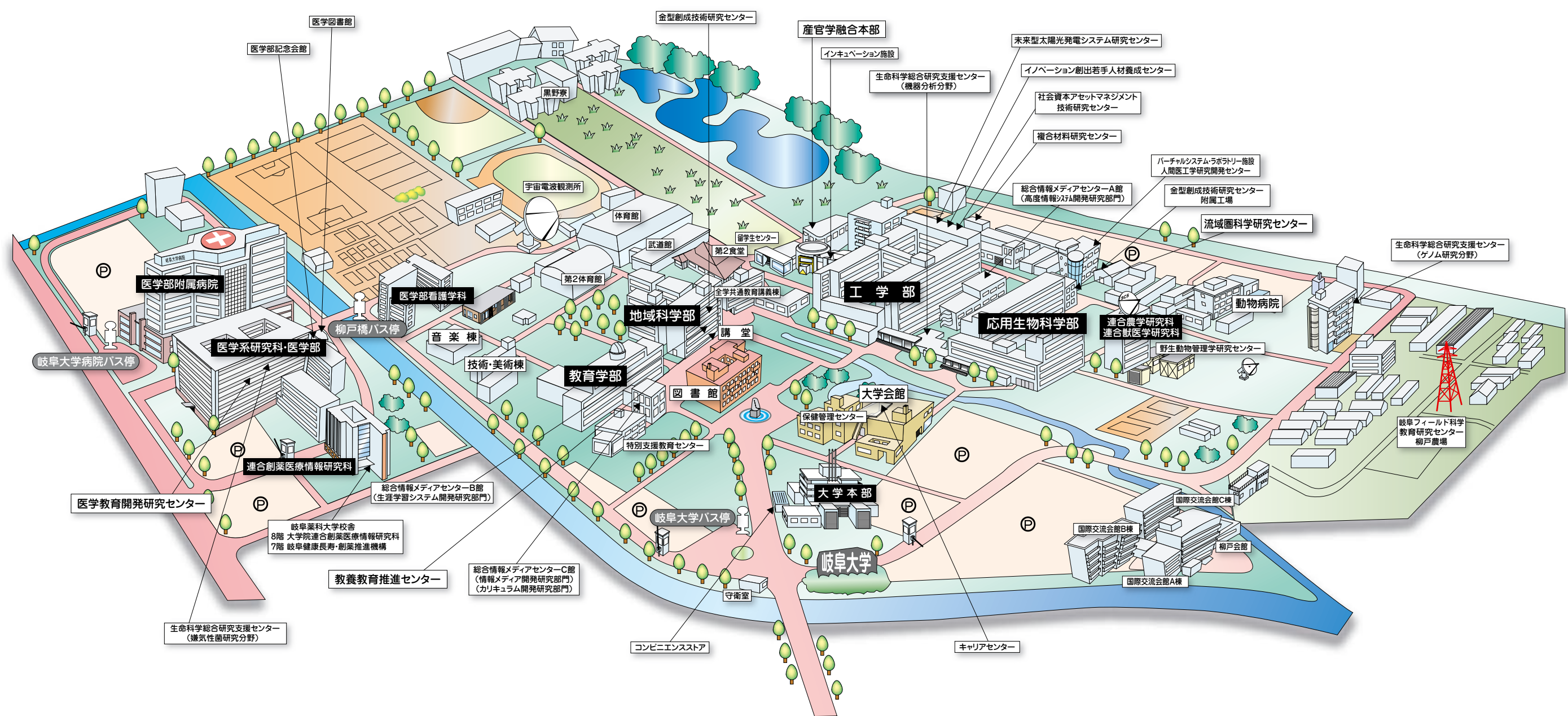
沿革



歴代学長	初代	青木文一郎	昭和24年5月31日	～	昭和29年7月1日
	事務取扱	高橋 悌蔵	昭和29年7月1日	～	昭和30年5月31日
	第2代	吉井 義次	昭和30年6月1日	～	昭和36年5月31日
	第3代	四方 博	昭和36年6月1日	～	昭和42年5月31日
	第4代	今西 錦司	昭和42年6月1日	～	昭和48年5月31日
	第5代	林 金雄	昭和48年6月1日	～	昭和52年5月31日
	第6代	館 正知	昭和52年6月1日	～	昭和58年5月31日
	第7代	早野 三郎	昭和58年6月1日	～	平成元年5月31日
	第8代	加藤 晃	平成元年6月1日	～	平成7年5月31日
	第9代	金城 俊夫	平成7年6月1日	～	平成13年5月31日
	第10代	黒木登志夫	平成13年6月1日	～	平成20年3月31日
	第11代	森 秀樹	平成20年4月1日	～	



建物配置図



キャンパス

キャンパス

土地・建物

平成 24 年 5 月 1 日現在			
地 区	区 分	土 地 (㎡)	建 物 (㎡)
柳 戸 地 区	本 部 棟	520,826	4,000
	教 育 学 部		18,588
	地域科学部		3,640
	地域科学部・共通教育講義棟		13,433
	医 学 部（看護学科）		7,197
	工 学 部		47,972
	応用生物科学部		27,539
	大学院連合農学研究科・連合獣医学研究科		2,301
	動 物 病 院		3,296
	図 書 館（講堂含む）		7,192
	産官学融合センター		3,906
	流域圏科学研究センター		1,112
	生命科学総合研究支援センター		2,843
	総合情報メディアセンター		2,311
	留学生センター		336
	国際交流会館		4,284
	大学会館，第二食堂，柳戸会館		6,465
	体育・課外活動施設		6,505
	黒 野 寮		5,045
	保 育 園		249
	排水処理施設，中央機械室，中継ポンプ室，特高受変電室外		1,847
	医学部・同附属病院	124,337	110,979
	大学院連合創薬医療情報研究科 （岐阜薬科大学校舎8階）		（1,305）
	柳戸地区合計	645,163	281,040 （1,305）
長 良 地 区	長良福江町 3 丁目 19 外 1 筆	1,821	
	学外合宿研修施設	3,263	1,304
司 町 地 区	司町 5 番地	239	
加 納 地 区	教育学部附属小・中学校	30,608	13,472
美濃加茂地区	応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター 美濃加茂農場	95,832 （18）	1,602
萩原町地区	応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター 位山演習林	5,538,803 （2,461）	1,103
高 山 地 区	流域圏科学研究センター高山試験地	（207,597）	750
そ の 他	職 員 宿 舎	18,442	8,813
合 計		6,334,171 （210,076）	308,084 （1,305）



所在地・交通案内

部局・施設等	郵便番号	住 所	電 話 番 号	F A X番号
大 学 本 部 教育学部 / 教育学研究科 ・附属特別支援教育センター 地域科学部 / 地域科学研究科 工学部 / 工学研究科 応用生物科学部 / 応用生物科学研究科 ・附属岐阜フィールド科学教育研究センター ・附属動物病院 ・附属野生動物管理学研究センター ・附属比較がんセンター 連合農学研究科 連合獣医学研究科 図 書 館 産官学融合本部 教養教育推進センター 流域圏科学研究センター 生命科学総合研究支援センター 総合情報メディアセンター 留学生センター 保健管理センター キャリアセンター イノベーション創出若手人材養成センター 金型創成技術研究センター 未来型太陽光発電システム研究センター 社会資本アセットマネジメント技術研究センター 人間医工学研究開発センター 複合材料研究センター	501-1193	岐阜市柳戸1番1	230-1111 (代表) 230-2203 230-2350 230-3002 230-2365 230-2834 230-2972 230-2962 230-2959 230-2884 230-2984 230-2987 230-2184 230-2025 230-2178 230-2061 230-3171 230-2041 230-2142 230-2174 230-3362 230-2738 (058) 230-2496 230-2685 230-2499 230-3140 230-2495	293-2021 293-2207 293-2355 293-3008 293-2376 293-2840 293-2977 293-2964 293-2959 293-2884 293-2992 293-2992 293-2194 293-2022 293-3020 293-2062 293-3172 293-2044 293-2143 293-2177 293-3381 293-2738 (058) 293-2496 293-2685 293-2499 293-3141 293-2376
医学部 / 医学系研究科 医学部附属病院 医学教育開発研究センター	501-1194		230-6000 (代表) 230-6008 230-6470 (058)	230-6060 230-6080 230-6468 (058)
連合創薬医療情報研究科	501-1196	岐阜市大学西1丁目25-4	(058) 230-7602	(058) 230-7604
教育学部附属小学校 教育学部附属中学校	500-8482	岐阜市加納大手町74	(058) 271-3545 271-3507	(058) 271-1816 272-3665
応用生物科学部附属 岐阜フィールド科学教育研究センター 美濃加茂農場	505-0016	美濃加茂市牧野1918-1	(0574) 25-2807	(0574) 25-2807
応用生物科学部附属 岐阜フィールド科学教育研究センター 位山演習林	509-2501	下呂市萩原町山之口	(0576) 54-1611	(0576) 54-1477
流域圏科学研究センター 高山試験地	506-0815	高山市岩井町919-47	(0577) 31-1005	(0577) 31-1016

岐阜大学へのアクセス

バス・タクシー

【JR岐阜駅 / 名鉄岐阜駅から】
・岐阜大学まで約7km、バスで約30分、タクシーで約20分

鉄道

【JR名古屋駅 / 名鉄名古屋駅 / 近鉄名古屋駅から】
・JR岐阜駅まで、東海道本線(新快速)で約18分
・名鉄岐阜駅まで、名鉄名古屋本線(特急)で約29分

【岐阜羽島駅(新幹線)から】

・新羽島駅(岐阜羽島駅隣り)から名鉄岐阜駅まで、
名鉄羽島線で約30分
・タクシー利用の場合は、岐阜大学まで約40分

【中部国際空港から】

・名鉄岐阜駅まで、名鉄(空港特急・ミュースカイ)で約57分

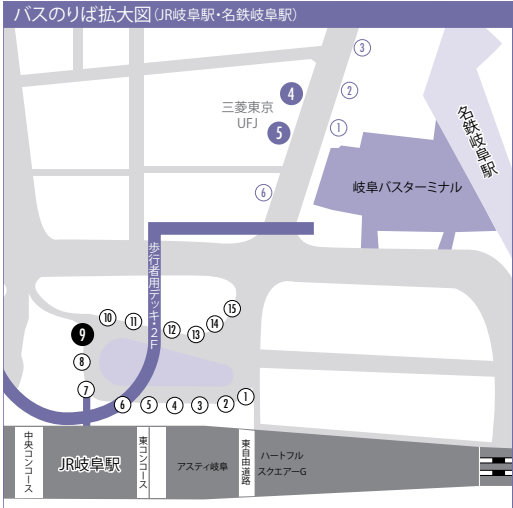
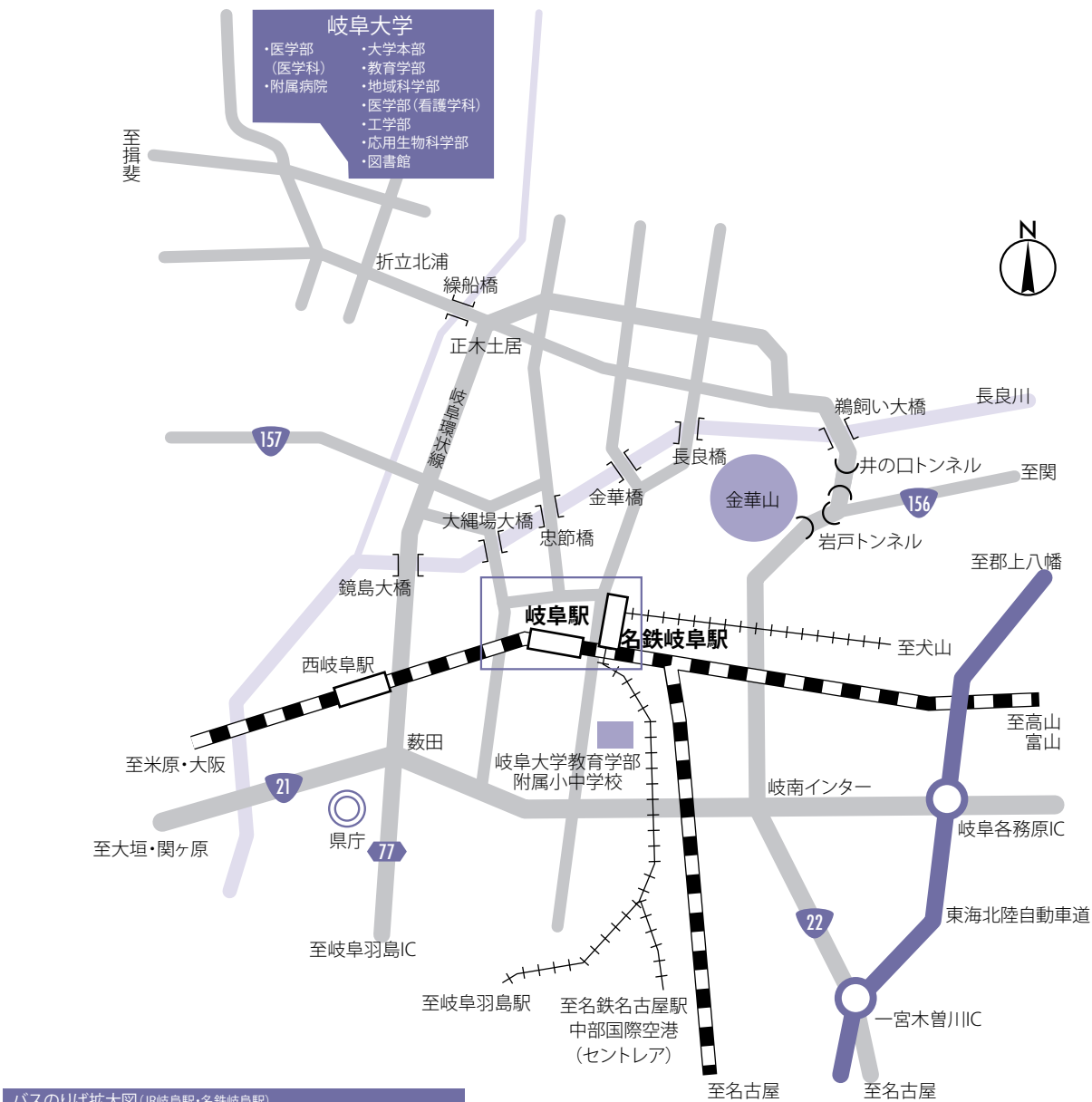
自家用車

【名神高速】

・岐阜羽島ICから岐阜環状線経由で、約40分(約20km)
・一宮ICから国道22号を北進し、
岐阜市街経由で、約50分(約25km)

【東海北陸自動車道】

・岐阜各務原ICから国道21号を西進し、
岐阜環状線経由で40分(約20km)



バスのりば案内

JR 岐阜駅北口・バスターミナルのりば				
のりば	路線名	系統	行先	所要時間
JR 岐阜-9	岐阜大学・病院線	C70	岐阜大学病院	約30分
JR 岐阜-9	岐阜大学・病院線	C70	岐阜大学病院	直行・清流ライナー 約25分
JR 岐阜-9	岐南町線(長良橋経由)	N45	岐阜大学病院	約35分

名鉄岐阜のりば				
のりば	路線名	系統	行先	所要時間
名鉄岐阜-5	岐阜大学・病院線	C70	岐阜大学病院	約30分
バスターミナル-E	岐阜大学・病院線	C70	岐阜大学病院	直行 約25分
名鉄岐阜-4	岐南町線(長良橋経由)	N45	岐阜大学病院	約35分

・バスはすべて「岐阜大学」に停車。バス系統Cは、忠節橋経由
・直行便は、学休日・土・日曜日運休
・清流ライナーは、岐阜大学まで3つの停留所のみ停車する130名乗車可能な連節バス



岐阜大学

【編集】岐阜大学総合企画部総務課 〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1番1

TEL. 058-230-1111(代表) 058-293-2009 FAX. 058-293-2021

<http://www.gifu-u.ac.jp>